

一般財団法人 日本語教育振興協会(モジュールボックスの無断転載・転用を禁止します。)

【留学類型:基本 10モジュール】

* **青字**部分をクリックすると詳細説明に移動します。

アクセスが集中すると、不具合が生じる場合があります。
その場合はしばらく待ってから再度アクセスしてください。

1 [授業／講義に参加できる](#)

2 [グループでの活動に参加できる](#)

3 [試験の準備・対策ができる](#)

4 [面接・面談が受けられる](#)

5 [情報収集ができる](#)

6 [情報発信ができる](#)

7 [問い合わせができる](#)

8 [社交ができる](#)

9 [手続きができる](#)

10 [楽しむことができる](#)

1 授業・講義に参加できる

Table with 4 columns: 領域 (私的, 公的, 職業, 教育), コミュニケーション言語活動 (理解する, 話す, 書く, テキスト), and a small INDEX box.

Table with 3 columns: レベル (B2, B1, A2, A1), このモジュールの活動Can do の例, 具体的な行動例, 学習活動例.

このモジュールに強く関連する枠組み

2 グループでの活動に参加できる

Table with 4 columns: 領域 (私的, 公的, 職業, 教育), コミュニケーション言語活動 (理解する, 話す, 書く, テキスト), and a small INDEX box.

Table with 3 columns: レベル (B2, B1, A2, A1), このモジュールの活動Can do の例, 具体的な行動例, 学習活動例.

このモジュールに強く関連する枠組み

3 試験の準備・対策ができる

Table with 4 columns: 領域 (私的, 公的, 職業, 教育), コミュニケーション言語活動 (理解する, 話す, 書く, テキスト), and a small INDEX box.

Table with 3 columns: レベル (B2, B1, A2, A1), このモジュールの活動Can do の例, 具体的な行動例, 学習活動例.

このモジュールに強く関連する枠組み

4 面接・面談が受けられる

Table with 4 columns: 領域 (私的, 公的, 職業, 教育), コミュニケーション言語活動 (理解する, 話す, 書く, テキスト), and a small INDEX box.

Table with 3 columns: レベル (B2, B1, A2, A1), このモジュールの活動Can do の例, 具体的な行動例, 学習活動例.

このモジュールに強く関連する枠組み

モジュール1に強く関連する「日本語教育の参照枠」の枠組み (黄色の部分) *青字はすべてレベルごとの能力記述文にリンクしています。

Table with 4 columns: コミュニケーション言語活動, テキスト, コミュニケーション言語方針, コミュニケーション言語能力.

このモジュールに強く関連する枠組み

モジュール2に強く関連する「日本語教育の参照枠」の枠組み (黄色の部分) *青字はすべてレベルごとの能力記述文にリンクしています。

Table with 4 columns: コミュニケーション言語活動, テキスト, コミュニケーション言語方針, コミュニケーション言語能力.

このモジュールに強く関連する枠組み

モジュール3に強く関連する「日本語教育の参照枠」の枠組み (黄色の部分) *青字はすべてレベルごとの能力記述文にリンクしています。

Table with 4 columns: コミュニケーション言語活動, テキスト, コミュニケーション言語方針, コミュニケーション言語能力.

このモジュールに強く関連する枠組み

モジュール4に強く関連する「日本語教育の参照枠」の枠組み (黄色の部分) *青字はすべてレベルごとの能力記述文にリンクしています。

Table with 4 columns: コミュニケーション言語活動, テキスト, コミュニケーション言語方針, コミュニケーション言語能力.

このモジュールに強く関連する枠組み

5 情報収集ができる

【このモジュールで行う活動】 主に、学校生活に関する情報など自分の知りた情報を得ることを目的とした活動。 例）興味関心のある情報を収集する活動が含まれる。
レベル このモジュールの活動Can doの例 具体的な行動例 学習活動例
B2 複雑な事実に基づくテキストや構成が明瞭でない長い話などの内容から必要な情報を得ることができる。
B1 日常的によく使われる表現で書かれた時事問題を扱ったテキストを読んだり、はきまりと話された時事問題などを聞いて理解し、必要な情報を得ることができる。
A2 馴染みのない言葉や日常的によく使われる表現を使いながら、知りた情報を入れてもらうことができる。
A1 簡単な単語や文を使いながら、自分の要求(手に入れたもの、欲しいもの、したいこと)が何かを相手に分かってもらうことができる。

モジュール5に強く関連する「日本語教育の参照枠」の枠組み(黄色の部分)
このモジュールに強く関連する枠組み
表: コミュニケーション言語活動(聞くこと、読むこと、やり取り、発表、書くこと)とコミュニケーション言語方略(産出、受容、相互行為)の対応関係。参照枠は黄色で強調されている。

6 情報発信ができる

【このモジュールで行う活動】 主に口頭での発表や書くことなど、提示的なコミュニケーションについての活動。 例）スピーチや文書を書くなど、リアルタイムでのやり取りが通常行われ、提示的なコミュニケーション活動。
レベル このモジュールの活動Can doの例 具体的な行動例 学習活動例
B2 自分の興味関心があることであれば、その場で即興に考えた内容を、ある程度のまとまりや論理性を持たせて発表し、相手に伝えることができる。
B1 自分の興味関心があることであれば、予め効果的に伝えるための方法を考え、やや詳細に情報を発信することができる。
A2 自分に興味関心があることであれば、要点を繰り返したり、強調したりして、聞き手と上手に伝わるようにならなければならぬ簡単な発語で情報を伝えることができる。
A1 限られた言語材料であっても、必要な情報、主張、説明などを簡潔な発語と伝えることができる。簡単な単語や短い文を使って、目的に応じた最低限の情報を書くことができる。

モジュール6に強く関連する「日本語教育の参照枠」の枠組み(黄色の部分)
このモジュールに強く関連する枠組み
表: コミュニケーション言語活動(聞くこと、読むこと、やり取り、発表、書くこと)とコミュニケーション言語方略(産出、受容、相互行為)の対応関係。参照枠は黄色で強調されている。

7 問い合わせができる

【このモジュールで行う活動】 対面、電話、メールで、自分にとって必要な情報を問い合わせる活動。 他に役所や銀行など日常的な問い合わせから、クレーン、交渉など非日常的な問い合わせなども含まれる。
レベル このモジュールの活動Can doの例 具体的な行動例 学習活動例
B2 複雑な情報を交換しながら、自分の抱える問題について相談したり、説得力のある言葉遣いで交渉の話し合いをしたりすることができる。
B1 非日常的な状況でも相手に合わせて事実情報を交換・チェックして正確な情報が確認できたり、詳細な説明を求めたらに細かい情報を得たりすることができる。
A2 自分にとって必要な、複雑ではない情報について、口頭もしくはメール等で、短時間について質問することができる。
A1 直接必要なことやごく身近な話題について、簡単な質問をしたり、答えたりすることができる。

モジュール7に強く関連する「日本語教育の参照枠」の枠組み(黄色の部分)
このモジュールに強く関連する枠組み
表: コミュニケーション言語活動(聞くこと、読むこと、やり取り、発表、書くこと)とコミュニケーション言語方略(産出、受容、相互行為)の対応関係。参照枠は黄色で強調されている。

8 社交ができる

【このモジュールで行う活動】 主に、他者を理解しつつ、仲間と共同で作業を進めたり、意見交換会などに参加しながら、人間関係の維持・構築を目指す活動。
レベル このモジュールの活動Can doの例 具体的な行動例 学習活動例
B2 社会的性質が異なる相手でも配慮をしながら友好的に話や文字でのコミュニケーションを続けることができる。
B1 非日常的な状況でも相手に合わせて事実情報を交換・チェックし、情報の確認ができる。
A2 テーマに沿って、自由な言いやり取りができる。自分ややり取りの相手に理解できない場合にお互いに行き合っていて課題を達成できる。
A1 身近な話題について、簡単な質問をしたり、答えたりすることができる。

モジュール8に強く関連する「日本語教育の参照枠」の枠組み(黄色の部分)
このモジュールに強く関連する枠組み
表: コミュニケーション言語活動(聞くこと、読むこと、やり取り、発表、書くこと)とコミュニケーション言語方略(産出、受容、相互行為)の対応関係。参照枠は黄色で強調されている。

1. 口頭でのやり取り
2. ターンの長い発語を含む
3. 書くやり取りを含む
4. ノート・メモ・資料

1. 口頭でのやり取り
2. ターンの長い発語を含む
3. 書くやり取りを含む
4. ノート・メモ・資料

1. 口頭でのやり取り
2. ターンの長い発語を含む
3. 書くやり取りを含む
4. ノート・メモ・資料

1. 口頭でのやり取り
2. ターンの長い発語を含む
3. 書くやり取りを含む
4. ノート・メモ・資料

9 手続きができる

【このモジュールで行う活動】

主に、進学や就職の相談、入学の手続きなどの活動。
 ・他に、役所や医療機関、図書館などの公共施設のサービスや、生活面で必要となるサービスを利用する場面が含まれる。
 ・Aレベルでは、駅や病院の窓口といった生活場面を中心に自分の目的に合った活動を他人の直接的な口頭による指示を受け、補助を借りながら行う。
 ・次第に手続きのための漢字やカタカナなどが存在する表記の文書を理解し、自分が正しく理解できているか確認をするなど方略を用いながら目的を果たす。

領域				
私的	公的	職業	教育	
○	○	○		
コミュニケーション言語活動				
理解する	話す	書く	テキスト	
○	○	◎	◎	△
<small>1...口頭でのやり取り 2...口頭の長い発話を含む 3...書くやり取りを含む 4...ノート・メモ、資料</small>				

INDEX

レベル	このモジュールの活動Can doの例	具体的な行動例	学習活動例
B2	適宜、自分が正しく理解できているかといった社会的な方略を用いながら、公共サービスを利用する上での手続きなどが示された文書の内容の中から必要な情報を正しく理解し、行動ができる。また、利用するための手続きの手順について担当者や窓口の人に尋ね、他者の補助を受けながら目的を果たせる。	・病院や薬局の窓口での手続き ・役所や駅などでの手続き ・進学の際の出願、入学手続き	・フィールドトリップ活動：クラス、グループ単位での体験学習を行い、見学する施設の利用申請を行う。 ・学習成果発表会の準備、会場利用の申請を行う。（仮想的な活動として数人でロールプレイを行うといった方法もある。） ・模擬銀行企画コンテスト：開かれた予備内で、あるテーマに基づいた調査目的の銀行をするといった活動を実施し、グループごとに企画を立案してもらう。初期の段階で、申し込みや申込書を提出したり、施設利用申請書などを取り寄せたりし、定期的に定期的な調査報告を企画する。
B1	ふだん日常的に行っているような状況においては、自分の目的に合った手続きなどにほとんど対応できる。必要に応じて、場面にふさわしい待合表現を用いて、依頼、相談、許可を求めることができる。また、口頭でのやり取りを通じ、他者の補助を受けながらほとんどの手続きに対応できる。	・習字や会議の予約 ・入居や、電気、水道、ガス、通信の契約手続き	・進学や就職を想定した必要な各種手続きの練習：履歴書、個人調査書、エントリーシートの書き方、封書での手紙の書き方、資料請求の練習、E-mailの送付。 ・字の習字書きを仲間と行う練習：学習室はペアになり一人が行う各種申請、事務所や学校施設の貸し出し手続き等を行う様子をもと一人がビデオ撮影するなどしてピアチェックを行う。 ・習字を練習し、授業で習った漢字の練習、トナー、シーム、練習用紙などを用いて練習を行う。
A2	予測可能な日常の状況ならば、身近な話題についての考えや情報を交換し、質問に答えることができる。身近な生活や仕事における日々の事柄について、直接的で簡単な情報交換しながら通常のタスクを達成できる。非常に短い社会的なやり取りに対応できる。	・自習室や会議室の予約	・問診券、予約券の記入：病院で診察を受けたり、ワクチン接種の際の予約券の書き方の練習を行ったり、診察の場面などでよく見かける言葉や表現について調べ、確認する。
A1	非常に基本的に自分に関する内容なら、公共のアナウンスを聞き取ったり、名前や住所を書くなどの簡単な手続きが行える。		・引っ越しの際の市役所の転出・転入の手続き、各種申し込み手続き、医療機関での診察時の問診券など生活場面において日常的に自分の氏名や住所などを記述する場面を模し、意識的に学校活動の中に身近な情報を書く作業を取り入れる。例えば学校事務は、数か月間に一度定期的に住所の確認をし、学校の交流イベントの申込書の作成で、こういった練習の機会として位置付ける。

このモジュールに強く関連する枠組み

モジュール9に強く関連する「日本語教育の参照枠」の枠組み（黄色の部分） *青字はすべてレベルごとの能力記述文にリンクしています。

コミュニケーション言語活動					テキスト	コミュニケーション言語方略			コミュニケーション言語能力		
聞くこと	読むこと	やり取り	発表	書くこと		産出	受容	相互行為	言語構造的な能力	社会言語能力	言語運用能力
社会的な話題	社会的な話題	一般的な話題	社会的な話題	社会的な話題	ノート取り（授業やセミナーなど）	社会	手紙のやり取り	発言の取り上げ	礼儀作法	社会言語的能力	ディスコース（話の構成）能力
個人の生活	個人の生活	個人の生活	個人の生活	個人の生活	個人	個人	個人	個人	個人	個人	個人
職業的な生活	職業的な生活	職業的な生活	職業的な生活	職業的な生活	職業	職業	職業	職業	職業	職業	職業
学術的な生活	学術的な生活	学術的な生活	学術的な生活	学術的な生活	学術	学術	学術	学術	学術	学術	学術
デジタル環境	デジタル環境	デジタル環境	デジタル環境	デジタル環境	デジタル	デジタル	デジタル	デジタル	デジタル	デジタル	デジタル

このモジュールに強く関連する枠組み

10 楽しむことができる

【このモジュールで行う活動】

主に、休日に興味のあることを楽しみ、人生をより豊かにするための活動。
 ・他にも、自分の興味のあることとつながりある新しい分野の楽しみを見つけ、それを楽しみながら自らの世界を広げることがイメージしている。
 ・Aレベルでは個人的な楽しみを特定、Bレベルでは、自分の専門や興味があることとつながりある新しい分野へ足を踏み入れることと楽しみを範囲を広げることが想定している。

領域				
私的	公的	職業	教育	
○				
コミュニケーション言語活動				
理解する	話す	書く	テキスト	
○	○	○	○	
<small>1...口頭でのやり取り 2...口頭の長い発話を含む 3...書くやり取りを含む 4...ノート・メモ、資料</small>				

INDEX

レベル	このモジュールの活動Can doの例	具体的な行動例	学習活動例
B2	自分が興味関心のある事柄やそれにつながる新しい分野にも目を向けながらより広く深く楽しむことができる。	・ドラマ、映画、動画などを観る ・漫画や小説を読む ・音楽を聴く ・オンラインゲームをする ・友達とおしゃべりをする ・パーティーに参加する	・ドラマや映画、小説など各自紹介したことを準備し、クラスや学校の友人に紹介する。 ・クラスにゲストを呼んで交流をし、共通点を見つけたりそれについて話したり、新しい情報を得るなどの交流活動をする。 ・オンライン交流として、同僚のたまたま趣味のある事柄や、大学での専門的な学習内容/好きな好む情報に触れる機会を作る。
B1	興味関心のあることをより広い範囲で深く楽しむことができる。	・東郷町で行っている地域のイベントに参加し、地域交流を通して知ったこと、分かったこと母国との違いなどをクラスメートと共有する（例：報告会、発表会など）。 ・オンライン交流やゲストを招いて関心や興味があることについて話す機会を作る。	・興味関心のある分野に関する記事や動画をクラスメートに紹介したり、クラスメートから教えてもらい、楽しみの幅を増やす。 ・自分が行ったイベントや活動などおもしろい情報をお互いに共有する。
A2	個人的に興味関心のあることを少し範囲を広げて楽しむことができる。	・スポーツをする ・地域のイベントに参加する ・旅行に行く ・料理を作る ・コンサートやライブに行く ・食事に行く	・興味関心のある分野に関する記事や動画をクラスメートに紹介したり、クラスメートから教えてもらい、楽しみの幅を増やす。 ・自分が行ったイベントや活動などおもしろい情報をお互いに共有する。
A1	個人的に興味関心のあることを楽しむことができる。		・クラスで自己紹介し、互いに共通の趣味や興味について情報交換をする。 ・前席や後席センター、同僚や先輩などから出かけて来る友達にこのような趣味や活動があるのか確認する。 ・身近にどんなイベントがあるのか探したり、友達に聞いてみる。イベントに参加した経験者から参加する方法など聞く。

このモジュールに強く関連する枠組み

モジュール10に強く関連する「日本語教育の参照枠」の枠組み（黄色の部分） *青字はすべてレベルごとの能力記述文にリンクしています。

コミュニケーション言語活動					テキスト	コミュニケーション言語方略			コミュニケーション言語能力		
聞くこと	読むこと	やり取り	発表	書くこと		産出	受容	相互行為	言語構造的な能力	社会言語能力	言語運用能力
社会的な話題	社会的な話題	一般的な話題	社会的な話題	社会的な話題	ノート取り（授業やセミナーなど）	社会	手紙のやり取り	発言の取り上げ	礼儀作法	社会言語的能力	ディスコース（話の構成）能力
個人の生活	個人の生活	個人の生活	個人の生活	個人の生活	個人	個人	個人	個人	個人	個人	個人
職業的な生活	職業的な生活	職業的な生活	職業的な生活	職業的な生活	職業	職業	職業	職業	職業	職業	職業
学術的な生活	学術的な生活	学術的な生活	学術的な生活	学術的な生活	学術	学術	学術	学術	学術	学術	学術
デジタル環境	デジタル環境	デジタル環境	デジタル環境	デジタル環境	デジタル	デジタル	デジタル	デジタル	デジタル	デジタル	デジタル

このモジュールに強く関連する枠組み

理解すること／聞くこと【包括的な聴解】

C2	熟達した日本語話者にかなり速いスピードで話されても、生であれ、放送であれ、どんな種類の話し言葉も実質的に容易に理解できる。	
C1	<ul style="list-style-type: none"> ・特に耳慣れない話し方をする話者の場合には、時々細部を確認しなければならない場合があるが、自分の専門外の抽象的で複雑な話題についての長い発話にも十分に付いていける。 ・幅の広い慣用表現や口語体表現が理解できる。言語使用域の移行を正しく認識できる。 ・構造がはっきりしていない場合、または内容の関係性が暗示されているだけで、明示的でない場合でも、長い発話を理解できる。 	
B2	B2.2	生であれ、放送であれ、身近な話題でなくとも、個人間、社会、学問、職業の世界で通常出合う話題について、共通語で話されれば理解できる。周囲の極端な騒音、不適切な談話構成や慣用表現だけが理解を妨げる。
	B2.1	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の専門分野での技術的な議論を含めて、共通語で話されれば、抽象的な話題でも具体的な話題でも、内容的にも言語的にもかなり複雑な話の要点を理解できる ・もし話題がそれなりに身近なもので、話の方向性が何らかの標識で明示的に示されていれば、長い話や複雑な議論の流れでも理解できる。
B1	B1.2	毎日やふだんの仕事上の話題について、簡単な事実関係の情報を理解できる。もし、大体が耳慣れた発音で、明瞭に話されていれば、一般的なメッセージも具体的な詳細も理解できる。
	B1.1	短い物語も含めて、仕事、学校、余暇などの場面でふだん出合う、ごく身近な事柄について、共通語で明瞭に話されたものなら要点を理解できる。
A2	A2.2	もし、はっきりとゆっくりとした発音ならば、具体的な必要性を満たすことが可能な程度に理解できる。
	A2.1	もし、発話がはっきりとゆっくりとした発音ならば、最も直接的な優先事項の領域(例、ごく基本的な個人や家族の情報、買い物、その地域の地理、仕事・雇用)に関連した句や表現が理解できる。
A1	意味が取れるように間を長くおきながら、非常にゆっくりと注意深く発音してもらえれば、発話を理解できる。	

モジュールボックスにもどる

1. [授業／講義に参加できる](#)
2. [グループでの活動に参加できる](#)
3. [試験の準備・対策ができる](#)
4. [面接・面談が受けられる](#)
5. [情報収集ができる](#)
6. [情報発信ができる](#)
7. [問い合わせができる](#)
8. [社交ができる](#)
9. [手続きができる](#)
10. [楽しむことができる](#)

[INDEX](#)

理解すること／聞くこと【聴衆の1人として生で聞くこと】

C2		口語表現や方言的な慣用表現、なじみの薄い専門用語を利用した専門の講義やプレゼンテーションを理解できる。
C1		大抵の講義、議論、ディベートが比較的容易に理解できる。
B2	B2.2	内容的にも言語的にも複雑な講義、話、報告、そのほかの学問的／専門的なプレゼンテーションの要点は理解できる。
	B2.1	
B1	B1.2	もし、ごく身近なテーマと内容で、プレゼンテーションが簡潔で明確な構成を持っているならば、自分の専門の範囲で講義や話を理解できる。
	B1.1	もし、はっきりと共通語で発音されるならば、ごく身近な話題についての簡単な短い話の要点を理解できる。
A2	A2.2	(記述文なし)
	A2.1	(記述文なし)
A1		(記述文なし)

モジュールボックスにもどる

1. [授業／講義に参加できる](#)
2. [グループでの活動に参加できる](#)
3. [試験の準備・対策ができる](#)
4. [面接・面談が受けられる](#)
5. [情報収集ができる](#)
6. [情報発信ができる](#)
7. [問い合わせができる](#)
8. [社交ができる](#)
9. [手続きができる](#)
10. [楽しむことができる](#)

[INDEX](#)

理解すること／聞くこと【他の話者同士の対話の理解】

C2		(記述文なし)
C1		抽象的で複雑、かつ未知の話題でも、グループ討議やディベートでの第三者間の複雑な話を容易に理解できる。
B2	B2.2	熟達した日本語話者同士の活気に富んだ会話に付いていくことができる。
	B2.1	自分の話し方を全く変えない熟達した日本語話者との議論に上手に加われないかもしれないが、少し努力すれば、自分の周りで話されていることのほとんどを聞き取ることができる。
B1	B1.2	もし、話が共通語で、発音もはっきりしていれば、自分の周りでの長い議論の要点を普通に理解できる。
	B1.1	
A2	A2.2	ゆっくりと、はっきりとした議論なら、自分の周りで議論されている話題は大方分かる。
	A2.1	
A1		(記述文なし)

モジュールボックスにもどる

1. [授業／講義に参加できる](#)
2. [グループでの活動に参加できる](#)
3. [試験の準備・対策ができる](#)
4. [面接・面談が受けられる](#)
5. [情報収集ができる](#)
6. [情報発信ができる](#)
7. [問い合わせができる](#)
8. [社交ができる](#)
9. [手続きができる](#)
10. [楽しむことができる](#)

[INDEX](#)

理解すること／聞くこと【広報・アナウンスや指示を聞くこと】

C2		(記述文なし)
C1		<ul style="list-style-type: none"> 例えば、駅やスポーツ・スタジアムのような所での、聞き取れないほど音質が悪い、ゆがみのあるアナウンスから、特定の情報を引き出すことができる。 取扱い説明やごく身近な製品説明やサービスについての複雑な専門的情報が理解できる。
B2	B2.2	共通語で普通のスピードで話されていれば、具体的なことでも抽象的なことでも、アナウンスやメッセージを理解できる。
	B2.1	
B1	B1.2	<ul style="list-style-type: none"> 毎日使っている機器・設備の取扱い説明のような、簡単な専門的情報を理解することができる。 詳細な指示を理解できる。
	B1.1	
A2	A2.2	<ul style="list-style-type: none"> 短い、はっきりとした、簡単なメッセージやアナウンスの要点は聞き取れる。 徒歩や公共交通機関を使ってXからYまでどうやって行くのかという簡単な説明は理解できる。
	A2.1	
A1		当人に向かって、丁寧にゆっくりと話された指示なら理解できる。短い簡単な説明なら理解できる。

モジュールボックスにもどる

- [1. 授業／講義に参加できる](#)
- [2. グループでの活動に参加できる](#)
- [3. 試験の準備・対策ができる](#)
- [4. 面接・面談が受けられる](#)
- [5. 情報収集ができる](#)
- [6. 情報発信ができる](#)
- [7. 問い合わせができる](#)
- [8. 社交ができる](#)
- [9. 手続きができる](#)
- [10. 楽しむことができる](#)

[INDEX](#)

理解すること／聞くこと【音声メディアや録音を聞くこと】

C2		(記述文なし)
C1		幾つか共通語どおりではない表現があっても、録音され、放送された広範囲な音声素材を理解できる。事柄に対する話し手の、言葉に表れない姿勢や、話し手の間の関係など、細かい点が聞き取れる。
B2	B2.2	社会、専門、学問の世界でふだん出合うもので、共通語で録音されたものは理解できる。また、情報の内容だけでなく、話し手の視点や事柄に対する姿勢が聞き取れる。
	B2.1	共通語で話されているほとんどのラジオドキュメンタリーや、録音・放送された音声素材を理解できる。話し手の心情や調子などが聞き取れる。
B1	B1.2	はっきりとした共通語で話された、個人的に興味がある話題であれば、録音され、放送された音声素材の大部分の情報の内容を理解できる。
	B1.1	比較的ゆっくりとはっきりと話された、ごく身近な話題に関するラジオの短いニュースや、比較的簡単な内容の録音された素材なら、主要な点は理解できる。
A2	A2.2	ゆっくりとはっきりと話されれば、予測可能な日常の事柄に関する、短い録音の一節を理解し、必要な情報を取り出すことができる。
	A2.1	
A1		(記述文なし)

モジュールボックスにもどる

1. [授業／講義に参加できる](#)
2. [グループでの活動に参加できる](#)
3. [試験の準備・対策ができる](#)
4. [面接・面談が受けられる](#)
5. [情報収集ができる](#)
6. [情報発信ができる](#)
7. [問い合わせができる](#)
8. [社交ができる](#)
9. [手続きができる](#)
10. [楽しむことができる](#)

[INDEX](#)

理解すること／聞くこと【テレビや映画を見ること】

C2		(記述文なし)
C1		相当数の俗語や慣用表現のある映画が理解できる。
B2	B2.2	<ul style="list-style-type: none"> ・大抵のテレビのニュースや時事問題の番組が理解できる。 ・共通語による言葉遣いのドキュメンタリー、生のインタビュー、トークショー、演劇、大部分の映画を理解できる。
	B2.1	
B1	B1.2	話し方が比較的ゆっくりと、はっきりとしていれば、インタビュー、短い講演、ニュースレポートなど本人の関心事である話題について、多くのテレビ番組の内容を大理解できる。
	B1.1	<ul style="list-style-type: none"> ・映像と人の行動が話の大筋を伝え、はっきりとした簡潔な言葉で話されていれば、かなりの映画が理解できる。 ・話し方が比較的ゆっくりとはっきりとしていれば、身近な話題についてのテレビ番組の要点をつかむことができる。
A2	A2.2	映像と実況説明がほとんど重なるならば、出来事や事故を伝えるテレビのニュース番組の要点が分かる。
	A2.1	事実報道のテレビニュースの話題が変われば、そのことに気が付き、内容を大まかに理解できる。
A1		(記述文なし)

モジュールボックスにもどる

- [1. 授業／講義に参加できる](#)
- [2. グループでの活動に参加できる](#)
- [3. 試験の準備・対策ができる](#)
- [4. 面接・面談が受けられる](#)
- [5. 情報収集ができる](#)
- [6. 情報発信ができる](#)
- [7. 問い合わせができる](#)
- [8. 社交ができる](#)
- [9. 手続きができる](#)
- [10. 楽しむことができる](#)

[INDEX](#)

理解すること／読むこと【包括的な読解】

C2		<ul style="list-style-type: none"> ・抽象的で構造的に複雑な、若しくは口語表現の非常に多い文学、及び文学以外の書き物を含めて、書かれた言葉のあらゆる形式を実質的に理解できる。 ・意味や文体の微妙な違いを味わい、明示的な意味と同時に暗示的な意味も味わいながら、幅広い分野にわたって、長い複雑なテキストを理解できる。
C1		長くて複雑なテキストでも、難しい節を繰り返して読めるのであれば、自分の専門に関係がなくても、中身を詳細に理解できる。
B2	B2.2	適切な参考資料を選択して使いながら、様々な目的やテキストの種類に合わせて、読むスピード、読み方を変えながら、独力でかなりのところまで読み解ける。広汎な語彙力を持っているが、頻度の低い慣用句には幾らか手こずることもある。
	B2.1	
B1	B1.2	簡潔な事実関係のテキストで、自分の専門分野や興味の範囲内ものは、十分に主題を理解できる。
	B1.1	
A2	A2.2	非常によく用いられる、日常的、若しくは仕事関連の言葉で書かれた、具体的で身近な事柄なら、短い簡単なテキストが理解できる。
	A2.1	よく使われる語で書かれた、国際的共通語彙もかなり多い、短い簡単なテキストが理解できる。
A1		非常に短い簡単なテキストを、身近な名前、単語、基本的な表現と一つずつ取り上げて、必要であれば、読み直したりしながら、一文一節ずつ理解することができる。

モジュールボックスにもどる

1. [授業／講義に参加できる](#)
2. [グループでの活動に参加できる](#)
3. [試験の準備・対策ができる](#)
4. [面接・面談が受けられる](#)
5. [情報収集ができる](#)
6. [情報発信ができる](#)
7. [問い合わせができる](#)
8. [社交ができる](#)
9. [手続きができる](#)
10. [楽しむことができる](#)

[INDEX](#)

理解すること／読むこと【通信文を読むこと】

C2		(記述文なし)
C1		辞書を時々使えば、どんな種類の通信文でも理解できる。
B2	B2.2	自分に興味のある分野に関連した通信文を読んで、すぐに主要点が把握できる。
	B2.1	
B1	B1.2	個人の手紙を読んで、出来事、感情、希望の表現を理解することができ、定期的にペンフレンドと文通できる。
	B1.1	
A2	A2.2	身近な話題についての日常の手紙やファックス(照会、注文、確認など)の基本的なタイプのもので理解できる。
	A2.1	短い個人の手紙は理解できる。
A1		はがきの短い簡単なメッセージを理解することができる。

モジュールボックスにもどる

1. [授業／講義に参加できる](#)
2. [グループでの活動に参加できる](#)
3. [試験の準備・対策ができる](#)
4. [面接・面談が受けられる](#)
5. [情報収集ができる](#)
6. [情報発信ができる](#)
7. [問い合わせができる](#)
8. [社交ができる](#)
9. [手続きができる](#)
10. [楽しむことができる](#)

[INDEX](#)

理解すること／読むこと【世情を把握するために読むこと】

C2		(記述文なし)
C1		(記述文なし)
B2	B2.2	<ul style="list-style-type: none"> ざっと目を通しただけで、長い複雑なテキストの重要事項を見定めることができる。 幅の広い専門的な話題についての情報や記事、レポートの内容やその重要度をすぐに見抜き、綿密な読解の価値があるどうかを決めることができる。
	B2.1	
B1	B1.2	必要な情報を見付けるために長いテキストにざっと目を通し、テキストの様々な部分や別のテキストから、特定の課題遂行のための情報を収集できる。
	B1.1	手紙、パンフレット、短い公文書のような日常の資料の中から重要な情報を探し出し理解できる。
A2	A2.2	<ul style="list-style-type: none"> 広告、趣意書、メニュー、参考書目録、時刻表のような、簡単な日常の資料の中から予測可能な特定の情報を見付けることができる。 リストの中から特定の情報を見定めて、必要とされる情報を抜き出すことができる。(例えば、サービスや小売店を探すために「タウンページ(電話帳)」を使う。 日常の看板や提示を理解することができる。例えば、公の場所では、道路、レストラン、鉄道の駅などの看板、職場では説明、指示、危険警告などの掲示が理解できる。
	A2.1	
A1		日常のよくある状況下で、簡単な掲示の中から身近な名前や語、基本的な表現が分かる。

モジュールボックスにもどる

- [1. 授業／講義に参加できる](#)
- [2. グループでの活動に参加できる](#)
- [3. 試験の準備・対策ができる](#)
- [4. 面接・面談が受けられる](#)
- [5. 情報収集ができる](#)
- [6. 情報発信ができる](#)
- [7. 問い合わせができる](#)
- [8. 社交ができる](#)
- [9. 手続きができる](#)
- [10. 楽しむことができる](#)

[INDEX](#)

理解すること／読むこと【情報や議論を読むこと】

C2		(記述文なし)
C1		社会、専門、学問の分野で出会う可能性のある、ある程度長い、複雑なテキストを詳細な点まで理解できる。意見表明だけでなく、含意された意見や立場も含めて詳細な点まで理解できる。
B2	B2.2	・自分の専門分野の非常に専門的な資料から、情報、考え、意見を読み取ることができる。 ・専門用語の意味を確認するために辞書を使うことができれば、自分の専門外であっても専門記事が理解できる。
	B2.1	筆者が特別の立場や視点から取り上げた、現代の問題に関する記事やレポートを理解できる。
B1	B1.2	・主張のはっきりした論説的テキストの主要な結論を把握できる。 ・必ずしも詳しくはなくても、提示された問題への対応に関する議論の筋道が分かる。
	B1.1	身近な話題についての簡単な新聞記事から重要点を取り出すことができる。
A2	A2.2	手紙、パンフレット、新聞の短い事件記事のような、簡潔なテキストの中から特定の情報を取り出すことができる。
	A2.1	
A1		簡単な情報文の内容や、簡潔な記述分の概要を把握することができる。特に視覚的な補助があれば、更に容易に概要が把握できる。

モジュールボックスにもどる

1. [授業／講義に参加できる](#)
2. [グループでの活動に参加できる](#)
3. [試験の準備・対策ができる](#)
4. [面接・面談が受けられる](#)
5. [情報収集ができる](#)
6. [情報発信ができる](#)
7. [問い合わせができる](#)
8. [社交ができる](#)
9. [手続きができる](#)
10. [楽しむことができる](#)

[INDEX](#)

理解すること／読むこと【説明書を読むこと】

C2		(記述文なし)
C1		もし難しい箇所を読み返すことができれば、それが自分の専門分野に関連していなくても、新しい機械や使用手順についての長い複雑な説明を細かいところまで理解できる。
B2	B2.2	もし難しい箇所を読み返すことができれば、条件や警告の詳細までも含めて、自分の関係分野の長い複雑な説明を理解できる。
	B2.1	
B1	B1.2	機器について、はっきりと書かれた簡潔な説明を理解できる。
	B1.1	
A2	A2.2	簡単な言葉で表現されていれば、例えば安全のためなどの規則が理解できる。
	A2.1	公衆電話のような日常生活で見る機器についての簡潔な説明を理解できる。
A1		(例えば、XからYへ行くための)短い、簡潔に書かれた方向指示を理解できる。

モジュールボックスにもどる

1. [授業／講義に参加できる](#)
2. [グループでの活動に参加できる](#)
3. [試験の準備・対策ができる](#)
4. [面接・面談が受けられる](#)
5. [情報収集ができる](#)
6. [情報発信ができる](#)
7. [問い合わせができる](#)
8. [社交ができる](#)
9. [手続きができる](#)
10. [楽しむことができる](#)

[INDEX](#)

話すこと／やり取り【一般的な話し言葉のやり取り】

C2		慣用的な表現や口語表現をかなり使いこなすことができ、コノテーション(含意)まで気がつく。かなりの確に修飾を加えることによって正確に細かいニュアンスまで伝えることができる。表現しにくいところを上手に回避して発話を再構成できるし、対話の相手は修復がなされたことにはほとんど気が付かない。
C1		ほとんど努力する必要がないくらい、らくらくと流ちょうに、自然に言いたいことを表現できる。幅の広い語彙が使いこなせ、間接的な表現を使って即座に対話の隙間を埋めることができる。見て分かるような表現探しや、回避の方略はほとんどない。概念的に難しい話題だけが自然でスムーズな言葉の流れを邪魔する。
B2	B2.2	一般的、学術的、職業上、若しくは余暇に関する幅広い話題について、流ちょうに、正確に、そして効果的に言葉を使うことができ、考えと考えの間の関係をはっきりとさせることができる。言いたいことが表現できない様子もまずなく、文法も正確で、その場にふさわしい丁寧さで、自然にコミュニケーションできる。
	B2.1	熟達した日本語話者を相手に、お互いにストレスを感じさせることなく、普通の対話や関係が維持できる程度に、流ちょうに自然に対話できる。個人的に重要な出来事や経験を強調して、関連説明をし、根拠を示して自分の見方をはっきりと説明し、主張・維持できる。
B1	B1.2	自分の関心や専門分野に関連した、身近な日常のおよび非日常的な問題について、自信を持って話し合いをすることができる。情報を交換、チェックし、確認できる。余り日常的でない状況に対処し、問題のありかを説明できる。映画、書籍、音楽などの抽象的な文化的話題について、自分の考えを表現できる。
	B1.1	単純な形だが幅広く言葉を使い、旅行中に遭遇する可能性のあるほとんどの状況に対処できる。身近な話題の会話に準備なしでも加わることができる。身近で個人的関心のある事柄、又は日常生活に関連する話題(例えば、家族、趣味、仕事、旅行、時事問題)について個人的な意見を表明したり、情報を交換したりできる。
A2	A2.2	もし必要がある場合に相手が助けてくれれば、あらかじめ決まっているような状況、短い会話でなら、比較的容易に対話ができる。余り苦労しなくても日常での簡単なやり取りができる。予測可能な 日常の状況ならば、身近な話題についての考えや情報を交換し、質問に答えることができる。
	A2.1	仕事や自由時間に関わる身近な日々の事柄について、直接的で簡単な情報交換を必要とする通常の課題ならコミュニケーションできる。非常に短い社交的なやり取りには対応できるが、自分から会話を進められるほどの理解はない。
A1		簡単な方法でやり取りができるが、ゆっくりとした繰り返し、言い換え、修正に全般的に頼ってコミュニケーションすることになる。簡単な質疑応答はできる。すぐに回答が必要な事柄やごく身近な話題についてなら、話も始められ、応答もできる。

モジュールボックスにもどる

1. [授業／講義に参加できる](#)
2. [グループでの活動に参加できる](#)
3. [試験の準備・対策ができる](#)
4. [面接・面談が受けられる](#)
5. [情報収集ができる](#)
6. [情報発信ができる](#)
7. [問い合わせができる](#)
8. [社交ができる](#)
9. [手続きができる](#)
10. [楽しむことができる](#)

[INDEX](#)

話すこと／やり取り【会話】

C2		社会や個人生活全般にわたって、言語上の制限もなく、ゆとりを持って、適切に、自由に会話ができる。
C1		感情表現、間接的な示唆、冗談などを交せて、社交上の目的に沿って、柔軟に、効果的に言葉を使うことができる。
B2	B2.2	<ul style="list-style-type: none"> ・騒音の多い環境でも、大抵の話題について長い会話に参加できる。 ・熟達した日本語話者との対話でも、相手を不用意にいらつかせたり、おかしがらせたりすることなく、相手が熟達した日本語話者同士で会話している時とは別の振る舞いをしなくて済むくらいに、互いの関係を維持できる。
	B2.1	<ul style="list-style-type: none"> ・気持ちのありようを伝え、出来事や経験の持つ個人的重要性を強調することができる。
B1	B1.2	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な話題についての会話なら準備なしに参加できる。 ・時には特定の単語や表現の繰り返しを求めることもあるが、日常的会話で自分に向けられたはっきりと発音された話は理解できる。
	B1.1	<ul style="list-style-type: none"> ・時には言いたいことが言えない場合もあるが、会話や議論を続けることができる。 ・驚き、幸せ、悲しみ、興味、無関心などの感情を表現し、また相手の感情に反応することができる。
A2	A2.2	<ul style="list-style-type: none"> ・挨拶、別れ、紹介、感謝などの社会的関係を確立することができる。 ・時々繰り返しや言い換えを求めることが許されるなら、自分に向けられた、身近な事柄について、はっきりとした、共通語での話は理解できる。 ・興味のある話題の日常的なことなら短い会話に参加できる。 ・簡単な言葉で自分の感情を表現することができるし、感謝も表現できる。
	A2.1	<ul style="list-style-type: none"> ・非常に短い社交的なやり取りには対応できるが、自分から会話を進ませられるほどには理解できていない場合が多い。それでも、相手の方が面倒がらねば、分かるようにしてもらえる。 ・挨拶をするのに簡単な日常の丁寧な形式を使うことができる。 ・招待、提案、謝罪をすることができ、またそれらに応じることができる。 ・好き嫌いを言うことができる。
A1		<ul style="list-style-type: none"> ・紹介や基本的な挨拶、いとまごいの表現を使うことができる。 ・人が元気かどうかを聞き、近況を聞いて、反応することができる。 ・こちらの事情を理解してくれるような話し相手から、はっきりとゆつくりと、繰り返しを交えながら、直接自分に話が向けられれば、具体的で単純な、必要性を満たすための日常的な表現を理解できる。

モジュールボックスにもどる

1. [授業／講義に参加できる](#)
2. [グループでの活動に参加できる](#)
3. [試験の準備・対策ができる](#)
4. [面接・面談が受けられる](#)
5. [情報収集ができる](#)
6. [情報発信ができる](#)
7. [問い合わせができる](#)
8. [社交ができる](#)
9. [手続きができる](#)
10. [楽しむことができる](#)

[INDEX](#)

話すこと／やり取り【対話相手の理解】

C2		なじみのない言い方に慣れる機会があれば、自分の専門分野を超えた専門家の抽象的な複雑な話題でも、話し相手が言ったことを理解できる。
C1		自分の専門分野外の話題についての専門家による抽象的な、複雑な話を詳しく理解できる。ただ、なじみのない話し方の場合は特に、時々詳細を確認する必要がある。
B2	B2.2	騒音のある環境でも共通語による話し言葉で自分に言われたことを詳細に理解できる。
	B2.1	
B1	B1.2	時には特定の単語や表現の繰り返しを求めることもあるが、日常的会話で自分に向けられたはっきりと発音された話は理解できる。
	B1.1	
A2	A2.2	・余り苦勞せずに簡単な日常のやり取りを何とかできるぐらいの理解はできる。 ・時々繰り返しや言い換えを求めることが許されるなら、自分に向けられた、身近な事柄について、はっきりとした、共通語での話は大抵理解できる。
	A2.1	・簡単な日常会話で、自分に対してははっきりとゆっくりと、直接言われたことを理解できる。もし、話し手の方が面倒がらねば、分かるようにしてもらえる。
A1		・こちらの事情を理解してくれるような話し相手から、はっきりとゆっくりと、繰り返しを交えながら、直接自分に向けられた話ならば、具体的で単純な必要性を満たすための日常の表現を理解できる。 ・自分に向けられた、注意深く、ゆっくり表現された質問や指示を理解できる。短い簡単な指示を理解できる。

モジュールボックスにもどる

1. [授業／講義に参加できる](#)
2. [グループでの活動に参加できる](#)
3. [試験の準備・対策ができる](#)
4. [面接・面談が受けられる](#)
5. [情報収集ができる](#)
6. [情報発信ができる](#)
7. [問い合わせができる](#)
8. [社交ができる](#)
9. [手続きができる](#)
10. [楽しむことができる](#)

[INDEX](#)

話すこと／やり取り【非公式の議論(友人との)】

C2	(記述文なし)	
C1	・抽象的で複雑でよく知らない話題でも、グループ討議では第三者間の複雑な対話を容易に理解し、そこに加わることができる。	
B2	B2.2	・熟達した日本語話者同士の活発な議論に付いていくことができる。 ・正確に自分の考えや意見を表現できる。また、説得力を持って議論の複雑な道筋を提示し、それに反応できる。
	B2.1	・身近な状況での非公式の議論に積極的に参加し、コメントすること、視点をはっきり示すこと、代替案を評価すること、仮説を立て、また他の仮説に対応することができる。 ・話し方をふだんと全く変えない複数の熟達した日本語話者との議論に加わるのは難しいかもしれないが、多少の努力をすれば議論の中で言われていることが大部分理解できる。 ・関連説明、論拠、コメントを述べることによって、議論で自分の意見を説明したり、維持したりできる。
B1	B1.2	・もし対話者が、非常に慣用的な語法を避け、はっきりと発音してくれば、一般的な話題について自分の周りで言われていることのほとんどを理解できる。 ・音楽や映画などの抽象的または文化的話題についての自分の考えが表現できる。問題のありかを説明できる。 ・他人の見方に対して簡単なコメントができる。 ・何をしたいか、どこに行きたいか、誰を選べばよいか、又はどちらを選べばよいか、などを議論し、代案を比較対照できる。
	B1.1	・もし、共通語による言葉遣いではっきりと発音された話であれば、友人との非公式の議論の要点を大方理解できる。 ・興味ある話題について議論する際に、自分の個人的見方や意見を示したり、尋ねたりすることができる。 ・どこに行くか、何をしたいか、イベントをどのように準備するか(例:外出)などの、実際的な問題や問いの解決に関して、自分の意見や反応を相手に理解させることができる。 ・信念、意見、賛成、反対を丁寧に表現できる。
A2	A2.2	・ゆっくりと、はっきりした議論なら、通常自分の周りで議論されている話題は大方分かる。 ・晩や週末にすることを論じることができる。 ・提案を行ったり、出された提案に対して反応できる。 ・他の人の意見に賛成や反対ができる。
	A2.1	・はっきり、ゆっくりと、自分に直接向けられた発話ならば、日常的で実際的な問題を簡単に論じることができる。 ・何をしたいのか、どこへ行くのかを話して、会う約束をすることができる。
A1	(記述文なし)	

モジュールボックスにもどる

- [1. 授業／講義に参加できる](#)
- [2. グループでの活動に参加できる](#)
- [3. 試験の準備・対策ができる](#)
- [4. 面接・面談が受けられる](#)
- [5. 情報収集ができる](#)
- [6. 情報発信ができる](#)
- [7. 問い合わせができる](#)
- [8. 社交ができる](#)
- [9. 手続きができる](#)
- [10. 楽しむことができる](#)

[INDEX](#)

話すこと／やり取り【公式の議論とミーティング】

C2	複雑な論題についての議論で自己主張できる。他の話者と比べても引けを取らず、明確で説得力のある議論ができる。	
C1	<ul style="list-style-type: none"> ・抽象的かつ複雑で身近でない話題でも、ディベートに容易に付いていくことができる。 ・説得力を持って公式に主張を展開でき、質問やコメントに応じ、複雑な筋立ての対抗意見にも、流ちょうに自然に適切に応えることができる。 	
B2	B2.2	<ul style="list-style-type: none"> ・活発な議論に付いていき、支持側と反対側の論理を的確に把握できる。 ・自分の考えや意見を正確に表現できる。また、複雑な筋立ての議論に対し、説得力を持って見解を提示し、対応できる。
	B2.1	<ul style="list-style-type: none"> ・日常・非日常的な公式の議論に積極的に参加できる。 ・自分の専門分野に関連した事柄なら、議論を理解し、話し手が強調した点を詳しく理解できる。 ・自分の意見を述べ、説明し、維持することができる。代案を評価し、仮説を立て、また他人が立てた仮説に対応できる。
B1	B1.2	<ul style="list-style-type: none"> ・もし対話相手が、非常に慣用句的な言葉遣いを避け、はっきりと発音してくれれば、自分の専門分野に関連した話の概略を理解できる。 ・ディベートに参加するのは難しいが、視点ははっきりと示すことができる。
	B1.1	<ul style="list-style-type: none"> ・共通語による言葉遣いではっきりとした発音であれば、事実に関する情報をやり取りしたり、指示を受けたり、実際的な問題の解決策を論じたりする、定例の公式の議論に参加することができる。
A2	A2.2	<ul style="list-style-type: none"> ・議論がゆっくりとはっきりなされれば、自分の専門分野に関連した公式の議論での話題の動き・変化を大方向理解できる。 ・直接自分に向けられた質問ならば、実際的な問題についての関連情報をやり取りし、自分の意見を示すことができるが、自分の意見を述べる際には、人の助けを借り、必要に応じて鍵となるポイントを繰り返してもらわねばならない。
	A2.1	もし必要な場合に鍵となるポイントを繰り返してもらえらば、公的な会合で直接自分に向けられた質問に対して自分の考えを言うことができる。
A1	(記述文なし)	

モジュールボックスにもどる

1. [授業／講義に参加できる](#)
2. [グループでの活動に参加できる](#)
3. [試験の準備・対策ができる](#)
4. [面接・面談が受けられる](#)
5. [情報収集ができる](#)
6. [情報発信ができる](#)
7. [問い合わせができる](#)
8. [社交ができる](#)
9. [手続きができる](#)
10. [楽しむことができる](#)

[INDEX](#)

話すこと／やり取り【目的達成のための協同作業】

C2		(記述文なし)
C1		(記述文なし)
B2	B2.2	<ul style="list-style-type: none"> ・詳細な使用説明を確実に理解できる。 ・他人に仲間に入るように誘ったり、意見を述べるように促したりすることによって、作業を先に進めることに貢献できる。
	B2.1	<ul style="list-style-type: none"> ・原因や結果を推測し、異なるアプローチの利点と不利な点を比較考量しながら、論点や問題の概略をはっきりと述べることができる。
B1	B1.2	<ul style="list-style-type: none"> ・相手の話し方が速かったり長い場合には、繰り返しや説明を求めることもあるが、言われたことは理解できる。 ・問題のありかを説明し、次に何をすべきか検討し、代案を比較対照できる。 ・他人の見方に対して簡単なコメントができる。
	B1.1	<ul style="list-style-type: none"> ・言われたことは大抵理解でき、必要ときにはお互いの理解を確認するために、言われたことの一部を繰り返すことができる。 ・自分の意見や反応を、次にすべきことや問題解決策との関連で、簡単に理由を挙げて説明して、理解させることができる。 ・仕事の進め方についての意見を言うよう他人を促すことができる。
A2	A2.2	<ul style="list-style-type: none"> ・理解できない場合は、単に繰り返しを求めるだけで、余り苦勞せずに簡単な日常の課題にうまく対処できる程度に理解できる。 ・提案したり、出された提案に応じたり、指示を求めたり出したりしながら、次にすることを検討できる。
	A2.1	<ul style="list-style-type: none"> ・話に付いていっていることを分らせることができる。もし話し相手が面倒がらなければ、必要なことを分かるようにしてもらえらる。 ・簡単な表現を使って日常の課題に関するやり取りができ、物を要求したり、与えたり、簡単な情報を得たり、次にすることを話し合うことができる。
A1		<ul style="list-style-type: none"> ・注意深く、ゆっくりと表現された質問や説明なら理解できる。短い簡潔な指示を理解できる。 ・人に物事を要求したり、与えることができる。

モジュールボックスにもどる

- [1. 授業／講義に参加できる](#)
- [2. グループでの活動に参加できる](#)
- [3. 試験の準備・対策ができる](#)
- [4. 面接・面談が受けられる](#)
- [5. 情報収集ができる](#)
- [6. 情報発信ができる](#)
- [7. 問い合わせができる](#)
- [8. 社交ができる](#)
- [9. 手続きができる](#)
- [10. 楽しむことができる](#)

[INDEX](#)

話すこと／やり取り【製品やサービスを得るための取引】

C2		(記述文なし)
C1		(記述文なし)
B2	B2.2	<ul style="list-style-type: none"> ・交通違反の不当な呼出し状、アパートでの損害に対する金銭的責任、事故に関する責任のような争いの解決のためにうまく交渉の話合いができる。 ・補償案件の概観を述べ、満足が得られるような説得力のある言葉遣いができ、こちらの譲歩の限界をはっきりと表明することができる。
	B2.1	問題が起きたことを説明し、業者や客の方が譲歩の義務があることをはっきりとさせることができる。
B1	B1.2	<ul style="list-style-type: none"> ・旅行中に起きそうな大抵のこと、旅行の打合せなどのやり取りに対処することができ、外国を訪問中に関係当局と対応できる。 ・店や郵便局、銀行で、例えば、気に入らなかった品を返品するなどの、余り日常では起きない状況に対処することができる。苦情を言うことができる。 ・例えば、知らない目的地に行くのに降りる駅を乗客に尋ねるなど、実際の旅行中や、旅行代理店で旅行の手配に際して起きる大抵の状況に対処することができる。
	B1.1	
A2	A2.2	<ul style="list-style-type: none"> ・旅行、宿泊、食事、買い物のような毎日の生活での普通の状況に対処することができる。 ・簡単で特別専門的でない普通の内容であれば、旅行会社から必要な情報を入手できる。
	A2.1	<ul style="list-style-type: none"> ・日用品やサービスを求めたり、提供したりできる。 ・旅行や、バス、列車、タクシーなどの公共交通機関についての簡単な情報を得ることができる。行き方を聞いたり、教えたりすることができる。切符を買うことができる。 ・疑問点を質問し、店、郵便局、銀行で簡単な用を済ますことができる。 ・量や数、値段などの情報を与えたり、取得することができる。 ・欲しいものを言い、値段を聞いて簡単な買い物ができる。 ・食事を注文することができる。
A1		<ul style="list-style-type: none"> ・人に物事を要求したり、与えることができる。 ・数や量、費用、時間を扱うことができる。

モジュールボックスにもどる

- [1. 授業／講義に参加できる](#)
- [2. グループでの活動に参加できる](#)
- [3. 試験の準備・対策ができる](#)
- [4. 面接・面談が受けられる](#)
- [5. 情報収集ができる](#)
- [6. 情報発信ができる](#)
- [7. 問い合わせができる](#)
- [8. 社交ができる](#)
- [9. 手続きができる](#)
- [10. 楽しむことができる](#)

[INDEX](#)

話すこと／やり取り【インタビューすること、インタビューを受けること】

C2		極めて上手に対話の一方を務めることができる。他の話者と比べても引けを取らず、インタビューする人かインタビューを受ける人として、堂々と、努力することなく流ちょうに話や対話を組み立てることができる。
C1		インタビューする人としてもインタビューを受ける側としても、インタビューに完全に参加することができる。助け船を出さなくとも、なめらかに議論点を発展させることができ、間投詞やあいづちもうまく使える。
B2	B2.2	インタビューを滑らかに効果的に行うことができる。相手の興味深い返答を取り上げ、用意した質問を自発的に変えるなどして、更に興味深い答えを引き出すことができる。
	B2.1	インタビューを受けるとき、相手に助けってもらったり、水を向けてもらわなくても、イニシアティブを取ってアイデアを伸長、伸展させることができる。
B1	B1.2	・インタビューや診察(例: 医者に症状を説明する)で正確さは限られるものの、必要とされる具体的な情報を提供することはできる。 ・もし相手が答えを早口で言ったり、長かったりすると、時には繰り返しを求めることもあるが、情報をチェックし、確認しながら用意されたインタビューをやり遂げることはできる。
	B1.1	・インタビューや協議(例: 新しい話題を始める)で、対話の相手に頼るところが大きいものの、幾らかイニシアティブを取ることができる。 ・組み立てられたインタビューをやり遂げるために、あらかじめ用意した質問用紙を使うことができ、相手の答えを受けてそれに続くような質問を幾つかは出すことができる。
A2	A2.2	もし時々説明を求めたり、自分が言いたいことを表現する手助けが得られれば、インタビューで自分の言いたいことを相手に理解させられるし、身近な話題についての考えや情報を伝えることができる。
	A2.1	インタビューで簡単な質問に答えたり、簡単な意見表明をしたりすることができる。
A1		個人的なことについて、慣用句的な言葉遣いもなく、ごくゆっくりとはっきりと話してもらえらるなら、簡単かつ直接的な質問に答えることができる。

モジュールボックスにもどる

1. [授業／講義に参加できる](#)
2. [グループでの活動に参加できる](#)
3. [試験の準備・対策ができる](#)
4. [面接・面談が受けられる](#)
5. [情報収集ができる](#)
6. [情報発信ができる](#)
7. [問い合わせができる](#)
8. [社交ができる](#)
9. [手続きができる](#)
10. [楽しむことができる](#)

[INDEX](#)

話すこと／やり取り【情報の交換】

C2		(記述文なし)
C1		(記述文なし)
B2	B2.2	自分の職業上の役割に関するどのような事柄についても、複雑な情報や助言を理解・交換することができる。
	B2.1	<ul style="list-style-type: none"> 信頼を得られる程度に情報を詳しく伝えることができる。 どのような手順で遂行するか、明確な細かい指示を与えることができる。 多くの情報源からの情報と論拠を統合して報告できる。
B1	B1.2	<ul style="list-style-type: none"> ある程度の自信を持って、自分の専門分野の身近な日常、また非日常的な事柄について、集めた事実情報を、交換、チェックし、確認できる。 細かい指示をしながら、やり方を説明することができる。 短い物語、記事、スピーチ、討議、インタビュー、ドキュメンタリーをまとめ、自分の意見を示すことができる。また更に細部に関する質問に答えることができる。
	B1.1	<ul style="list-style-type: none"> 事実に基づく簡単な情報を見付け出し、人に伝えることができる。 詳細な説明を求め、理解できる。 更に細かい情報を得ることができる。
A2	A2.2	<ul style="list-style-type: none"> あまり苦労しないで簡単な日常の対話をこなしていくだけの理解はできる。 毎日の実際的な要求に対処できる。事実に基づく簡単な情報を見付け出し、人に伝えることができる。 習慣や日常の仕事について質問をし、答えることができる。 娯楽や過去の活動について質問をし、答えることができる。 簡単な説明や指示を与えたり、理解することができる。例:どこかへの行き方を説明する。
	A2.1	<ul style="list-style-type: none"> 直接的な情報交換を求めたり、日常の簡単な課題についてやり取りしたりすることができる。 身近な日常的作業について情報がある程度まで交換できる。 仕事中や自由時間にすることについて質問をしたり、答えたりすることができる。 地図や図面を参照しながら目的地を聞いたり、答えたりすることができる。 個人的な情報を求めたり、提供したりできる。
A1		<ul style="list-style-type: none"> 自分に向けられた、注意深く、ゆっくり表現された質問や説明が理解できる。短い簡潔な指示を理解できる。 簡単な質問を聞いたり、答えたりすることができる。直接必要なこと、若しくはごく身近な話題についての簡単なことを、自分から言ったり、相手の言ったことに反応できる。 自分自身や他人の住まい、知人、所有物などについて質問を受けたり、答えたりすることができる。 「来週」、「前の金曜日」、「11月には」、「3時」などの表現を用いて時を知らせることができる。

モジュールボックスにもどる

- [1. 授業／講義に参加できる](#)
- [2. グループでの活動に参加できる](#)
- [3. 試験の準備・対策ができる](#)
- [4. 面接・面談が受けられる](#)
- [5. 情報収集ができる](#)
- [6. 情報発信ができる](#)
- [7. 問い合わせができる](#)
- [8. 社交ができる](#)
- [9. 手続きができる](#)
- [10. 楽しむことができる](#)

[INDEX](#)

話すこと／発表【総合的な口頭発話】

C2		聞き手が要点を記憶、あるいは後で思い出す際の足掛かりになるような、論理的な構造を持った、流れのよい、構成のしっかりしたスピーチができる。
C1		複雑な話題について、明瞭かつ詳細な記述やプレゼンテーションができる。下位テーマをまとめたり、一定の要点を展開しながら、適当な結論に持っていきたりすることができる。
B2	B2.2	記述とプレゼンテーションを明確かつ体系的に展開できる。要点を見失わずに、関連する詳細情報を付け加えて、内容を補足できる。
	B2.1	自分の関心のある分野に関連した、広範囲な話題について、明瞭かつ詳細に記述、プレゼンテーションができる。事項を補足しながら、関連事例を挙げて、主張を強化、展開することができる。
B1	B1.2	自分の関心のある様々な話題のうちのどれかについて、ほどほどの流ちょうさで、ある程度の長さの、簡単な記述やプレゼンテーションができる。その際、事柄の提示は直線的に並べるにとどまる。
	B1.1	
A2	A2.2	人物や生活・職場環境、日課、好き嫌いなどについて、単純な記述やプレゼンテーションができる。その際、簡単な語句や文を並べることができる。
	A2.1	
A1		人物や場所について、単純な語句を並べて、述べるができる。

モジュールボックスにもどる

1. [授業／講義に参加できる](#)
2. [グループでの活動に参加できる](#)
3. [試験の準備・対策ができる](#)
4. [面接・面談が受けられる](#)
5. [情報収集ができる](#)
6. [情報発信ができる](#)
7. [問い合わせができる](#)
8. [社交ができる](#)
9. [手続きができる](#)
10. [楽しむことができる](#)

[INDEX](#)

話すこと／発表【長く一人で話す: 経験談】

C2		明瞭で滞りなく、詳しく、多くは記憶に残るような経験談ができる。
C1		<ul style="list-style-type: none"> ・複雑な内容を明瞭かつ詳細に述べることができる。 ・洗練された記述と語りができる。下位テーマをまとめ、要点の一つを展開して、適切な結論で終わらせることができる。
B2	B2.2	自分の関心のある分野に関連した広範囲な話題について、明確で詳しく述べるができる。
	B2.1	
B1	B1.2	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の関心事で、なじみのある様々な話題について、簡単に述べるができる。 ・事柄を直線的に並べていって、比較的流ちょうに、簡単な語り、記述ができる。 ・自分の感情や反応を記述しながら、経験を詳細に述べるができる。 ・予測不能の出来事(例えば事故など)を、順序立てて詳細に述べるができる。 ・本や映画の筋を順序立てて話し、それに対する自分の考えを述べるができる。 ・夢や希望、野心を述べるができる。 ・現実や想像上の出来事を述べるができる。 ・物語を語るができる。
	B1.1	
A2	A2.2	<ul style="list-style-type: none"> ・事項を列挙して簡単に述べたり、物語るができる。自分の周りの環境、例えば、人や場所、仕事、学習経験などの日常を述べるができる。 ・出来事や活動の要点を短くのべることができる。 ・計画、準備、習慣、日課、過去の活動や個人の経験を述べるができる。 ・簡単な記述的な言葉を用いて、事物や所有物について短く述べたり、それらを比較できる。 ・好きか嫌いかを述べるができる。
	A2.1	
A1		自分について、自分が何をしているか、自分が住んでいる場所を、述べるができる。

モジュールボックスにもどる

1. [授業／講義に参加できる](#)
2. [グループでの活動に参加できる](#)
3. [試験の準備・対策ができる](#)
4. [面接・面談が受けられる](#)
5. [情報収集ができる](#)
6. [情報発信ができる](#)
7. [問い合わせができる](#)
8. [社交ができる](#)
9. [手続きができる](#)
10. [楽しむことができる](#)

[INDEX](#)

話すこと／発表【長く一人で話す：論拠を述べること】

C2		(記述文なし)
C1		(記述文なし)
B2	B2.2	適切に要点を強調し、重要な関連のある補足事項を詳しく取り上げて、整然と論拠を展開できる。
	B2.1	<ul style="list-style-type: none"> ・はっきりとした議論を展開できる。補助的視点や関連事例を詳細に補足し、自分の見解を展開し、話を続けることができる。 ・理路整然と論拠を並べ挙げることができる。 ・幾つかの選択肢の利点と不利な点を挙げて、話題となる問題の視点を説明できる。
B1	B1.2	ほとんどの場合、明確な議論が構築でき、他人が付いていくのに苦労しない。
	B1.1	意見、計画、行動について短い理由や説明ができる。
A2	A2.2	(記述文なし)
	A2.1	(記述文なし)
A1		(記述文なし)

モジュールボックスにもどる

- [1. 授業／講義に参加できる](#)
- [2. グループでの活動に参加できる](#)
- [3. 試験の準備・対策ができる](#)
- [4. 面接・面談が受けられる](#)
- [5. 情報収集ができる](#)
- [6. 情報発信ができる](#)
- [7. 問い合わせができる](#)
- [8. 社交ができる](#)
- [9. 手続きができる](#)
- [10. 楽しむことができる](#)

[INDEX](#)

話すこと／発表【公共アナウンス】

C2		(記述文なし)
C1		細かいニュアンスを正確に伝えるために強弱、イントネーションを付けて、楽々と、かつ流ちょうにアナウンスができる。
B2	B2.2	聞き手に何のストレスも不快さも与えることなく、一般的な話題のほとんどについて、明快に流ちょうに、ごく自然にアナウンスができる。
	B2.1	
B1	B1.2	自分の分野に関連する話題について、練習しておけば短いアナウンスができる。アクセントとイントネーションには、かなり外国語なまりの部分もあるが、それでもはっきりと分かりやすい。
	B1.1	
A2	A2.2	聞き手が集中して聞いてくれれば、練習した上で、予測可能で身近な内容の事柄について、短いアナウンスができる。
	A2.1	
A1		(記述文なし)

モジュールボックスにもどる

1. [授業／講義に参加できる](#)
2. [グループでの活動に参加できる](#)
3. [試験の準備・対策ができる](#)
4. [面接・面談が受けられる](#)
5. [情報収集ができる](#)
6. [情報発信ができる](#)
7. [問い合わせができる](#)
8. [社交ができる](#)
9. [手続きができる](#)
10. [楽しむことができる](#)

[INDEX](#)

話すこと／発表【聴衆の前での講演】

C2		<ul style="list-style-type: none"> ・話題について知識のない聴衆に対しても、自信を持ってはっきりと複雑な内容を口頭発表できる。聴衆の必要性に合わせて柔軟に話を構造化し、変えていくことができる。 ・難しい、あるいは敵意すら感じられる質問に対処することができる。
C1		<ul style="list-style-type: none"> ・複雑な話題について、明確なきちんとした構造を持ったプレゼンテーションができる。補助事項、理由、関連事例を詳しく説明し、論点を展開し、立証できる。 ・聴衆からの不意の発言にも対応することができる。ほとんど苦労せずに自然に反応できる。
B2	B2.2	<ul style="list-style-type: none"> ・はっきりとした、体系的に展開したプレゼンテーションができる。その際、重要な要点や、関連する詳細事項を補足的に強調することができる。 ・あらかじめ用意されたテキストから自然に離れて、聴衆が喚起した興味ある事柄に対応できる。そこで非常に流ちょうに楽に表現ができる。
	B2.1	<ul style="list-style-type: none"> ・事前に用意されたプレゼンテーションをはっきりと行うことができる。ある見方に賛成、反対の理由を挙げて、幾つかの選択肢の利点と不利な点を示すことができる。 ・一連の質問に、ある程度流ちょうに自然に対応ができる。話を聞く、あるいは話をする際に聴衆にも自分にも余分な負担を掛けることはない。
B1	B1.2	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の専門でよく知っている話題について、事前に用意された簡単なプレゼンテーションができる。ほとんどの場合、聴衆が難なく話に付いていける程度に、はっきりとしたプレゼンテーションをすることができ、また要点をそこそこ正確に述べることができる。 ・質問には対応できるが、そのスピードが速い場合は、もう一度繰り返すことを頼むこともある。
	B1.1	
A2	A2.2	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の毎日の生活に直接関連のある話題については、リハーサルして短いプレゼンテーションができる。意見、計画、行動に対して、理由を挙げて短く述べることができる。 ・話し終えた後、限られた数の簡単な質問に対処することができる。
	A2.1	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な話題について、リハーサルをして、短い基本的なプレゼンテーションができる。 ・質問を繰り返し言ってもらい、回答するのに何らかの助け船を出してくれる人がいるなら、話し終えた後から出される簡単な質問に答えることができる。
A1		<p>非常に短い、準備して練習した言葉を読み上げることができる。例えば、話し手の紹介や乾杯の発声など。</p>

モジュールボックスにもどる

1. [授業／講義に参加できる](#)
2. [グループでの活動に参加できる](#)
3. [試験の準備・対策ができる](#)
4. [面接・面談が受けられる](#)
5. [情報収集ができる](#)
6. [情報発信ができる](#)
7. [問い合わせができる](#)
8. [社交ができる](#)
9. [手続きができる](#)
10. [楽しむことができる](#)

[INDEX](#)

書くこと／書くこと【総合的な書く活動】

C2		適切で印象的な文体と論理的な構成を用いて、明瞭に調子よく、複雑なテキストを書くことができる。読者には重要な点に分かるようになっている。
C1		複雑な話題について、明瞭にきちんとした構造を持ったテキストを書くことができる。関連性のある重要点を強調して、補助的事項、理由、関連する詳細な事例を付け加えて、論点を展開し、それを維持していくことができる。最後に、適切な結論で終わることができる。
B2	B2.2	いろいろな情報や議論をまとめて評価した上で、自分の関心がある専門分野の多様な話題について明瞭で詳細なテキストを書くことができる。
	B2.1	
B1	B1.2	一連の短い別々になっている要素を一つの流れに結びつけることによって、自分の関心が及ぶ身近な話題について結束性のある簡単なテキストを書くことができる。
	B1.1	
A2	A2.2	「そして・しかし・なぜなら」などの簡単な接続詞でつなげた簡単な表現や文を書くことができる。
	A2.1	
A1		簡単な表現や文を単独に書くことができる。

モジュールボックスにもどる

1. [授業／講義に参加できる](#)
2. [グループでの活動に参加できる](#)
3. [試験の準備・対策ができる](#)
4. [面接・面談が受けられる](#)
5. [情報収集ができる](#)
6. [情報発信ができる](#)
7. [問い合わせができる](#)
8. [社交ができる](#)
9. [手続きができる](#)
10. [楽しむことができる](#)

[INDEX](#)

書くこと／書くこと【創作】

C2		明瞭ですらすらと流れるように、そのジャンルに適切な文体で書き、読み手を完全に引き込むことができる。
C1		読者として想定した相手にふさわしい、自分の、しかも自然な文体で、自信を持って、明瞭かつ詳細な、的確な構成と展開を持つ記述文や創作文が書ける。
B2	B2.2	実際、若しくは想像上の出来事や経験について、複数の見解を相互に関連付け、当該のジャンルの書記習慣に従って、明瞭かつ詳細に記述文を書くことができる。
	B2.1	<ul style="list-style-type: none"> 自分が関心を持つ様々な話題について、明瞭、詳細に書くことができる。 映画や本、演劇の評を書くことができる。
B1	B1.2	<ul style="list-style-type: none"> 自分が関心を持つ身近な話題について、複雑でないが、詳しく記述することができる。 単純につながり合わせたテキストで感情や反応を記述し、経験したことを書くことができる。
	B1.1	<ul style="list-style-type: none"> 現実のことであれ想像上のことであれ、最近行った旅行や出来事を記述できる。 物語を書くことができる。
A2	A2.2	<ul style="list-style-type: none"> 自分の周りがある日々のいろいろな事柄、例えば、人物、場所、仕事や学習経験などについて、つながりのある文を書くことができる。 出来事、過去の活動、個人的な経験の記述を短い文で書くことができる。
	A2.1	<ul style="list-style-type: none"> 家族、生活環境、学歴、現在又は最近の仕事について、簡単な句や文を連ねて書くことができる。 短く簡単な想像上の人物伝や、人物を題材にした簡単な詩を書くことができる。
A1		自分自身や想像上の人々について、どこに住んでいるか、何をやる人なのかについて、簡単な句や文を書くことができる。

モジュールボックスにもどる

1. [授業／講義に参加できる](#)
2. [グループでの活動に参加できる](#)
3. [試験の準備・対策ができる](#)
4. [面接・面談が受けられる](#)
5. [情報収集ができる](#)
6. [情報発信ができる](#)
7. [問い合わせができる](#)
8. [社交ができる](#)
9. [手続きができる](#)
10. [楽しむことができる](#)

[INDEX](#)

書くこと／書くこと【レポートやエッセイ】

C2		<ul style="list-style-type: none"> ・明瞭で流れるような、複雑なレポート、記事、エッセイを書き、事例を説明したり、提案や文学作品の批評文を書くことができる。 ・読者に重点が分かるように、適切で効果的に論理を構成することができる。
C1		<ul style="list-style-type: none"> ・複雑な話題について、明瞭な構造で、きちんと記述し、重要な関連事項を強調しながら、書くことができる。 ・補助的な観点、理由、関連する事例を詳細に加えて、特定の視点からの論を展開し、ある程度の長さの文が書ける。
B2	B2.2	<ul style="list-style-type: none"> ・論拠、論点を整然と展開して、エッセイやレポートを書くことができる。重要な点や関連する補足事項の詳細を、適切に強調することができる。 ・いろいろな考えや問題の解決法を評価することができる。
	B2.1	<ul style="list-style-type: none"> ・エッセイやレポートを書くときに、根拠を提示しながら、ある視点に賛成や反対の理由を挙げ、様々な選択肢の利点と不利な点を説明できる。 ・いろいろなところから集めた情報や議論をまとめることができる。
B1	B1.2	<ul style="list-style-type: none"> ・関心を持つ話題についての短い簡単なエッセイを書くことができる。 ・自分の専門範囲の日常的若しくは非日常的な事柄について、集めた事実情報を基に、総括し、報告できる。また、それに対し、ある程度の自信を持って自分の意見を提示することができる。
	B1.1	日常的な事実を述べ、行動の理由を説明するために、極めて短い報告文を標準的な常用形式に沿って書くことができる。
A2	A2.2	(記述文なし)
	A2.1	(記述文なし)
A1		(記述文なし)

モジュールボックスにもどる

1. [授業／講義に参加できる](#)
2. [グループでの活動に参加できる](#)
3. [試験の準備・対策ができる](#)
4. [面接・面談が受けられる](#)
5. [情報収集ができる](#)
6. [情報発信ができる](#)
7. [問い合わせができる](#)
8. [社交ができる](#)
9. [手続きができる](#)
10. [楽しむことができる](#)

[INDEX](#)

書くこと／書くこと【一般的な書かれた言葉でのやりとり】

C2		(記述文なし)
C1		自分が述べたいことをはっきりと正確に表現することができ、相手に対して、柔軟に効果的に対応することができる。
B2	B2.2	ニュースや視点を効果的に書き表し、他の人の書いたものにも関連付けることができる。
	B2.1	
B1	B1.2	<ul style="list-style-type: none"> 具体的な話題だけでなく、抽象的な話題についても情報や意見を伝えることができる。情報をチェックし、問題について適度の詳しさを尋ねたり、説明したりできる。 直接的に関連のある簡単な情報を求めたり伝えたりする個人的な手紙、覚書を書くことができ、自分が重要だと思う点を相手に理解させることができる。
	B1.1	
A2	A2.2	必要な分野の事柄について、決まり文句を用いて、短い簡単な覚書を書くことができる。
	A2.1	
A1		書面で個人的な具体的な情報を求めたり、伝えることができる。

モジュールボックスにもどる

1. [授業／講義に参加できる](#)
2. [グループでの活動に参加できる](#)
3. [試験の準備・対策ができる](#)
4. [面接・面談が受けられる](#)
5. [情報収集ができる](#)
6. [情報発信ができる](#)
7. [問い合わせができる](#)
8. [社交ができる](#)
9. [手続きができる](#)
10. [楽しむことができる](#)

[INDEX](#)

書くこと／書くこと【通信】

C2		(記述文なし)
C1		個人的な通信の中で、自分が伝えたいことをはっきりと正確に表現することができ、感情表現や、ほのめかしや、冗談を交えながら、柔軟で効果的な言葉遣いができる。
B2	B2.2	感情の度合いを伝え、出来事や経験の持つ個人的な重要性を強調しながら、相手の近況や考え 方などに言及する手紙を書くことができる。
	B2.1	
B1	B1.2	出来事を伝え、音楽や映画のような抽象的、文化的話題についても、自分の意見を表現する個人的な手紙を書くことができる。
	B1.1	経験、感情や出来事を多少詳細に記した個人的な手紙を書くことができる。
A2	A2.2	感謝と謝罪を表現するごく簡単な個人的な手紙を書くことができる。
	A2.1	
A1		短い簡単なはがきを書くことができる。

モジュールボックスにもどる

1. [授業／講義に参加できる](#)
2. [グループでの活動に参加できる](#)
3. [試験の準備・対策ができる](#)
4. [面接・面談が受けられる](#)
5. [情報収集ができる](#)
6. [情報発信ができる](#)
7. [問い合わせができる](#)
8. [社交ができる](#)
9. [手続きができる](#)
10. [楽しむことができる](#)

[INDEX](#)

書くこと／書くこと【記録、メッセージ、書式】

C2		(記述文なし)
C1		(記述文なし)
B2	B2.2	(記述文なし)
	B2.1	(記述文なし)
B1	B1.2	問合せや、問題を説明したメッセージを記録できる。
	B1.1	自分の日常生活の中で重要な役割を果たす友人たち、サービス関係者、教師や他の人々に、直接伝える情報を簡単なメモに書き、重要と考える点を分かるよう伝えることができる。
A2	A2.2	<ul style="list-style-type: none"> ・もし、繰り返しや言い直しを求めることが可能なら、短い、簡単なメッセージを受け取ることができる。 ・直接必要なことの用件についての短い、簡単なメモやメッセージを書くことができる。
	A2.1	
A1		ホテルの予約用紙などに、数、日付、自分の名前、国籍、住所、年、生年月日、入国日などを書くことができる。

モジュールボックスにもどる

1. [授業／講義に参加できる](#)
2. [グループでの活動に参加できる](#)
3. [試験の準備・対策ができる](#)
4. [面接・面談が受けられる](#)
5. [情報収集ができる](#)
6. [情報発信ができる](#)
7. [問い合わせができる](#)
8. [社交ができる](#)
9. [手続きができる](#)
10. [楽しむことができる](#)

[INDEX](#)

テキスト【ノート取り(講義やセミナーなど)】

C2		話の含意やほのめかしに気付き、それらをメモし、さらに実際に使った表現をノートに取ることができる。
C1		自分の興味関心のある分野の話題の講義で、詳細なノートを取ることができる。記録された情報が非常に詳細で、話された内容を忠実に再現しているから、他の人にもそのノートが役立つ。
B2	B2.2	言葉そのものに集中しすぎて、情報を時には聞き逃す傾向もあるが、身近な話題で明確に組み立てられた講義なら理解でき、重要だと感じた点をノートに取ることができる。
	B2.1	
B1	B1.2	もし話題が自分の興味関心の範囲であり、話がはっきりとしていて、組立てがしっかりしていれば、後で自分が使うためには十分精確なノートを講義中に取りすることができる。
	B1.1	もし話題が身近で、簡単な言葉で表現されており、はっきりとした発音で共通語による話し言葉で話されれば、簡単な講義を聴きながら、重要な点をリストにすることができる。
A2	A2.2	利用できる言語能力記述文はない。
	A2.1	
A1		利用できる言語能力記述文はない。

モジュールボックスにもどる

1. [授業/講義に参加できる](#)
2. [グループでの活動に参加できる](#)
3. [試験の準備・対策ができる](#)
4. [面接・面談が受けられる](#)
5. [情報収集ができる](#)
6. [情報発信ができる](#)
7. [問い合わせができる](#)
8. [社交ができる](#)
9. [手続きができる](#)
10. [楽しむことができる](#)

[INDEX](#)

テキスト【テキストの処理】

C2		異なる情報源からの情報をまとめ、論点や主張を整理して、まとまりのある全体的結論を示すことができる。
C1		長い、難しいテキストを要約することができる。
B2	B2.2	・事実や、想像上のことを記述した様々なテキストを要約し、対照的な観点や主要テーマについてコメントしたり、議論することができる。 ・主張、論争、議論を含むニュース、インタビュー、ドキュメンタリーからの抜粋を要約することができる。
	B2.1	・映画や劇の粗筋と流れをまとめることができる。
B1	B1.2	・幾つかの情報源からの短い断片的な情報を他人のために要約することができる。
	B1.1	・語調や、順序は元のまま、短い文章の一節を簡単な形に言い換えることができる。
A2	A2.2	学習者の限られた能力と経験の範囲内で、短いテキストからのキーワード、表現、短い文を抜き出して、書くことができる。
	A2.1	印刷物か、明瞭に手書きされた短いテキストを書き写すことができる。
A1		標準的な様式で印刷された単語、または短いテキストを書き写すことができる。

モジュールボックスにもどる

1. [授業／講義に参加できる](#)
2. [グループでの活動に参加できる](#)
3. [試験の準備・対策ができる](#)
4. [面接・面談が受けられる](#)
5. [情報収集ができる](#)
6. [情報発信ができる](#)
7. [問い合わせができる](#)
8. [社交ができる](#)
9. [手続きができる](#)
10. [楽しむことができる](#)

[INDEX](#)

方略(産出)【計画】

C2		B2と同じ。
C1		B2と同じ。
B2	B2.2	発言内容及びその表現方法について計画を立てることができる。また、受け手に与える影響を考えることができる。
	B2.1	
B1	B1.2	新しい言葉の組合せや表現を稽古したり試したりして、相手からフィードバックを得ることができる。
	B1.1	伝えたいことの要点を伝達する方法を考えることができる。その際、使える言語能力を総動員して、表現のための手段が思い出せる、あるいは見付かる範囲内にメッセージの内容を限定する。
A2	A2.2	自分のレパートリーの中から適切な表現形を思い出して、使ってみることができる。
	A2.1	
A1		利用できる言語能力記述文はない。

モジュールボックスにもどる

1. [授業／講義に参加できる](#)
2. [グループでの活動に参加できる](#)
3. [試験の準備・対策ができる](#)
4. [面接・面談が受けられる](#)
5. [情報収集ができる](#)
6. [情報発信ができる](#)
7. [問い合わせができる](#)
8. [社交ができる](#)
9. [手続きができる](#)
10. [楽しむことができる](#)

[INDEX](#)

方略(産出)【補償】

C2	すぐには思い出せない言葉を同等の表現で置き換えることができ、余りにも流ちょうにそれを行うので聞いている側はほとんど気が付かない。
C1	B2と同じ。
B2	B2.2 B2.1 語彙やテキスト構成上の空白を補う間接的な表現や言い換えを使うことができる。
B1	B1.2 B1.1 ・直接当てはまる言葉は思い出せないが、そのものの具体的な特徴を定義できる。 ・自分の言いたかったことを、類似の意味を持つ表現を使って言い換えることができる。(例:バス=人を運ぶトラック) ・伝えたい概念に類似した意味を持つ、簡単な言葉を使い、聞き手にそれを正しい形に「修正」してもらうことができる。 ・母語を学習対象言語の形に変えて使ってみて、相手に確認を求めることができる。
A2	A2.2 A2.1 手持ちの語彙の中から不適切な言葉を使っても、言いたいことをはっきりとさせるためにジェスチャーを使うことができる。 直接、その物自体を指し示して、伝えたいことを相手に分からせることができる。(例:「これをください」)
A1	利用できる言語能力記述文はない。

モジュールボックスにもどる

1. [授業／講義に参加できる](#)
2. [グループでの活動に参加できる](#)
3. [試験の準備・対策ができる](#)
4. [面接・面談が受けられる](#)
5. [情報収集ができる](#)
6. [情報発信ができる](#)
7. [問い合わせができる](#)
8. [社交ができる](#)
9. [手続きができる](#)
10. [楽しむことができる](#)

[INDEX](#)

方略(産出)【モニタリングと修正】

C2		難しいところを元に戻って言い直したり、言い換えが非常にめめらかにでき、対話の相手はそれにほとんど気が付かないぐらいである。
C1		難しいところは元に戻って言い直し、全く話の流れを途切れさせることなく、本来言いたかったことの言い換えができる。
B2	B2.2	<ul style="list-style-type: none"> ・特に意識している場合や、誤解を引き起こしてしまった場合、言い損ないや誤りを修正 することができる。 ・自分のよくなる間違いが分かっている、その点に関して発言の際、意識的にモニタリングすることができる。
	B2.1	
B1	B1.2	もし対話相手から問題を指摘されたなら、誤解を招くような表現や時制などの混乱を修正できる。
	B1.1	<ul style="list-style-type: none"> ・自分が使った言語形式が正しいかどうか確認することができる。 ・コミュニケーションが失敗したときは、別の方略を用いて出直すことができる。
A2	A2.2	利用できる言語能力記述文はない。
	A2.1	
A1		利用できる言語能力記述文はない。

モジュールボックスにもどる

1. [授業／講義に参加できる](#)
2. [グループでの活動に参加できる](#)
3. [試験の準備・対策ができる](#)
4. [面接・面談が受けられる](#)
5. [情報収集ができる](#)
6. [情報発信ができる](#)
7. [問い合わせができる](#)
8. [社交ができる](#)
9. [手続きができる](#)
10. [楽しむことができる](#)

[INDEX](#)

方略(受容)【手掛かりの発見と推論】

C2		C1と同じ。
C1		コンテキスト上の、文法的、語彙的手掛かりから、相手の態度や気持ち、意図を推測し、何が次に来るかよく予測できる。
B2	B2.2	要点の把握を含め、理解のために多様な方略を駆使でき、コンテキスト上の手掛かりから理解の可否を確かめることができる。
	B2.1	
B1	B1.2	<ul style="list-style-type: none"> 自分の関心や専門に関連するテキストの中で、なじみのない単語の意味を文脈から推測できる。 話題が身近なものであれば、時には知らない単語の意味を文脈から推定し、文の意味を推論できる。
	B1.1	
A2	A2.2	日常の具体的な内容や話題の短いテキストや、発話の全体の意味を手掛かりに、知らない単語のおおよその意味を文脈から引き出すことができる。
	A2.1	
A1		利用できる言語能力記述文はない。

モジュールボックスにもどる

- [1. 授業／講義に参加できる](#)
- [2. グループでの活動に参加できる](#)
- [3. 試験の準備・対策ができる](#)
- [4. 面接・面談が受けられる](#)
- [5. 情報収集ができる](#)
- [6. 情報発信ができる](#)
- [7. 問い合わせができる](#)
- [8. 社交ができる](#)
- [9. 手続きができる](#)
- [10. 楽しむことができる](#)

[INDEX](#)

方略(相互行為)【発言権の取得/保持】

C2	C1と同じ。	
C1	ディスコース機能の中のいつでも使える範囲から、自分の発言の前置きにふさわしい言い回しを適切に選び、発言の機会を獲得できる。また話の内容を考えている間も、発言権を維持できる。	
B2	B2.2	<ul style="list-style-type: none"> 適切な表現を使って議論に途中から入り込むことができる。 上手に発言権を取って、会話を始め、続け、終わることができる。
	B2.1	<ul style="list-style-type: none"> 必ずしもスマートとは言えないが、会話を始めること、適切なときに発言権を取り、必要なときに会話を終わらせることができる。 手持ちの言い回し(例えば「それは難しい問題ですね…」等)を使って、言うべきことを言葉にする間、時間を稼ぎ、発言権を保ち続けることができる。
B1	B1.2	適切な言い回しを使って、なじみのある話題についての議論に途中からでも加わる ことができる。
	B1.1	なじみのある話題や、個人的興味のある話題なら、対面での簡単な会話を始め、続け、終わらせることができる。
A2	A2.2	<ul style="list-style-type: none"> 簡単なやり方で、短い会話を始め、続け、また終わることができる 簡単な対面での会話を始め、続け、終わることができる。
	A2.1	発言権を取るため、保持するために何らかの言語行動を取ることができる。
A1	利用できる言語能力記述文はない。	

モジュールボックスにもどる

1. [授業／講義に参加できる](#)
2. [グループでの活動に参加できる](#)
3. [試験の準備・対策ができる](#)
4. [面接・面談が受けられる](#)
5. [情報収集ができる](#)
6. [情報発信ができる](#)
7. [問い合わせができる](#)
8. [社交ができる](#)
9. [手続きができる](#)
10. [楽しむことができる](#)

[INDEX](#)

方略(相互行為)【協力】

C2		C1と同じ。
C1		巧みに自分の話を他の話し手の話に関連付けることができる。
B2	B2.2	<ul style="list-style-type: none"> 相手の反応や意見、推論に対応して、フィードバックを与え、議論の進展に寄与できる。 身近な範囲の議論なら、自分の理解したことを確認したり、他の人の発言を誘ったりして、議論の進展に寄与できる。
	B2.1	
B1	B1.2	<ul style="list-style-type: none"> 会話や議論を進めるために、基本的な言葉や方略の中から持っているものを利用できる。 議論の中で合意点を要約し、話の焦点を整えることができる。
	B1.1	<ul style="list-style-type: none"> 誰かが述べたことを部分的に繰り返して、互いの理解を確認し、計画どおり話が展開するのに寄与できる。 他の人を話合いに誘い入れることができる。
A2	A2.2	理解していることを身振りで示すことができる。
	A2.1	
A1		利用できる言語能力記述文はない。

モジュールボックスにもどる

1. [授業／講義に参加できる](#)
2. [グループでの活動に参加できる](#)
3. [試験の準備・対策ができる](#)
4. [面接・面談が受けられる](#)
5. [情報収集ができる](#)
6. [情報発信ができる](#)
7. [問い合わせができる](#)
8. [社交ができる](#)
9. [手続きができる](#)
10. [楽しむことができる](#)

[INDEX](#)

方略(相互行為)【説明を求めること】

C2		B2と同じ。
C1		B2と同じ。
B2	B2.2	相手の発言を正しく理解したかどうかを確認するための質問ができ、曖昧な点の説明を求めることができる。
	B2.1	
B1	B1.2	誰かが今言ったことの意味を明らかにするよう、詳しく説明するよう人に求めることができる。
	B1.1	
A2	A2.2	・分からないときは、繰り返してもらいよう単純な表現で頼むことができる。 ・手持ちの表現を使って、理解できていないキーワードや表現の意味の説明を求めることができる。
	A2.1	理解できないと言うことができる。
A1		利用できる言語能力記述文はない。

モジュールボックスにもどる

1. [授業／講義に参加できる](#)
2. [グループでの活動に参加できる](#)
3. [試験の準備・対策ができる](#)
4. [面接・面談が受けられる](#)
5. [情報収集ができる](#)
6. [情報発信ができる](#)
7. [問い合わせができる](#)
8. [社交ができる](#)
9. [手続きができる](#)
10. [楽しむことができる](#)

[INDEX](#)

言語能力 ①語彙能力【使用語彙領域】

C2		定型表現や口語表現も含め、非常に幅広い語彙のレパートリーを使うことができる。コノテーション(含意)に対する意識もある。
C1		・広い語彙レパートリーを使いこなせるし、言い換えて語彙の不足を埋めることができる。言葉を探したり、回避方略の使用がはっきりと分かることはない。 ・定型表現や口語表現の使い方も上手である。
B2	B2.2	本人の専門分野や大部分の一般的な話題に関して、幅広い語彙を持っている。語彙に不足があるために、時々詰まったり、間接的な表現をすることもあるが、頻繁な繰り返しを避けて、言い方を変えることができる。
	B2.1	
B1	B1.2	家族、趣味や関心、仕事、旅行、時事問題など、本人の日常生活に関わる大部分の話題について、多少間接的な表現を使ってでも、自分の述べたいことを述べられるだけの語彙を持っている。
	B1.1	
A2	A2.2	なじみのある状況や話題に関して、日常的な生活上の交渉・取引を行うのに十分な語彙を持っている。
	A2.1	・基本的なコミュニケーションの要求を満たすことができるだけの語彙を持っている。 ・生活上の単純な要求に対応できるだけの語彙を持っている。
A1		特定の具体的な状況に関して、基本的な単語や言い回しのレパートリーを持っている。ただしそれらの間のつながりはない。

モジュールボックスにもどる

1. [授業／講義に参加できる](#)
2. [グループでの活動に参加できる](#)
3. [試験の準備・対策ができる](#)
4. [面接・面談が受けられる](#)
5. [情報収集ができる](#)
6. [情報発信ができる](#)
7. [問い合わせができる](#)
8. [社交ができる](#)
9. [手続きができる](#)
10. [楽しむことができる](#)

言語能力 ①語彙能力【語彙の使いこなし】

C2		一貫して正しく、適切に語彙が使用できる。
C1		時にはささいな言い間違いがあるが、大きな語彙上の誤りはない。
B2	B2.2	語彙的な正確さは一般的に高い。多少の混乱や間違った単語の選択もコミュニケーションを邪魔しない範囲である。
	B2.1	
B1	B1.2	複雑な考えや、非日常的な話題や状況に関して何かを述べようとすると、大きな誤りをすることがあるが、初歩的な語彙は使いこなせる。
	B1.1	
A2	A2.2	具体的な日々の要求に関する狭いレパートリーの語を使うことができる。
	A2.1	
A1		利用できる言語能力記述文はない

[INDEX](#)

言語能力 ②文法能力【文法的正確さ】

C2	(例えば、これから言うことを考えているときや、他人の反応をモニターしているようなときといった)他のことに注意を払っているときでも、複雑な言葉について常に高い文法駆使力を維持している。
C1	常に高い文法的正確さを維持する。誤りは少なく、見付けることは難しい。
B2	B2.2 高い文法駆使力がある。時には「言い間違い」や、文構造での偶然起こした誤りや些細な不備が見られる場合があるが、その数は少なく、後で見直せば訂正できるものが多い。
	B2.1 比較的高い文法駆使力が見られる。誤解につながるような間違いは犯さない。
B1	B1.2 なじみのある状況では、割合正確にコミュニケーションを行うことができる。多くの場合高いレベルでの文法駆使能力があるが、母語の影響が明らかである。誤りも見られるが、本人が述べようとしていることは明らかに分かる。
	B1.1 比較的予測可能な状況で、頻繁に使われる「繰り返し」やパターンのレポーターを、割合正確に使うことができる。
A2	A2.2 いくつかの単純な文法構造を正しく使うことができるが、依然として決まって犯す基本的な間違いがある—例えば、時制を混同したり、性・数・格などの一致を忘れていたりする傾向がある。しかし、本人が何を言おうとしているのかは大抵の場合明らかである。
	A2.1
A1	学習済みのレポーターの中から、限られた、幾つかの単純な文法構造や構文を使うことはできる。

モジュールボックスにもどる

1. [授業／講義に参加できる](#)
2. [グループでの活動に参加できる](#)
3. [試験の準備・対策ができる](#)
4. [面接・面談が受けられる](#)
5. [情報収集ができる](#)
6. [情報発信ができる](#)
7. [問い合わせができる](#)
8. [社交ができる](#)
9. [手続きができる](#)
10. [楽しむことができる](#)

[INDEX](#)

言語能力 ③意味的能力

C2		* 意味的能力についての言語能力記述文はない
C1		
B2	B2.2	
	B2.1	
B1	B1.2	
	B1.1	
A2	A2.2	
	A2.1	
A1		

モジュールボックスにもどる

1. [授業／講義に参加できる](#)
2. [グループでの活動に参加できる](#)
3. [試験の準備・対策ができる](#)
4. [面接・面談が受けられる](#)
5. [情報収集ができる](#)
6. [情報発信ができる](#)
7. [問い合わせができる](#)
8. [社交ができる](#)
9. [手続きができる](#)
10. [楽しむことができる](#)

[INDEX](#)

言語能力 ④音声能力【音素の把握】

C2		C1と同じ
C1		より微妙なニュアンスを表現するために、イントネーションを変化させたり、文の特定部分を正しく強調することができる。
B2	B2.2	はっきりとした、自然な発音やイントネーションを身に付けている。
	B2.1	
B1	B1.2	時には外国語なまりが目立ったり、発音の間違いもあるが、大体よく理解できるくらいに発音は明瞭である。
	B1.1	
A2	A2.2	話の相手から時々、繰り返しを求められることもあり、明らか外国語なまりが見られるものの、大体の場合、発音は理解できる程度にははっきりとしている。
	A2.1	
A1		非常に限られたレパートリーの、学習・練習済みの単語や言い回しなら、本人の言語を聞き慣れている熟達した日本語話者であれば、多少努力すれば理解できる。

モジュールボックスにもどる

1. [授業／講義に参加できる](#)
2. [グループでの活動に参加できる](#)
3. [試験の準備・対策ができる](#)
4. [面接・面談が受けられる](#)
5. [情報収集ができる](#)
6. [情報発信ができる](#)
7. [問い合わせができる](#)
8. [社交ができる](#)
9. [手続きができる](#)
10. [楽しむことができる](#)

[INDEX](#)

言語能力 ⑤正書法の能力【正書法の把握】

C2		正書法の誤りなしに文章を書くことができる。
C1		・レイアウト、段落切り、句読点の打ち方が統一されており、読者にとって読みやすい。 ・つづりは、時々ささいな間違いがある以外は正確である。
B2	B2.2	・標準的なレイアウトや段落切りの慣習に従って、ある程度の長さのはっきりと理解できる文章を書くことができる。 ・母語の影響を見せることもあるが、つづりや句読点の打ち方はかなり正確である。
	B2.1	
B1	B1.2	・読者が理解できる、ある程度の長さの文章を書くことができる。 ・つづりや句読点、レイアウトなどは、ほとんどの場合読者を混乱させない程度に正確である。
	B1.1	
A2	A2.2	・日常的话题に関する短い文を書き写すことができる。例えば、道順の説明など。 ・当人が話す語彙に含まれる短い単語の音声を、(完全に標準的なつづりではない場合もあるが)割合に正確に文字化することができる。
	A2.1	
A1		・例えば、簡単な記号や指示、日常的な物の名前、店の名前やふだん使う定型表現など、なじみのある単語や言い回しを書き写すことができる。 ・当人の住所、国籍やその他の個人的な情報を正確に書くことができる。

モジュールボックスにもどる

1. [授業／講義に参加できる](#)
2. [グループでの活動に参加できる](#)
3. [試験の準備・対策ができる](#)
4. [面接・面談が受けられる](#)
5. [情報収集ができる](#)
6. [情報発信ができる](#)
7. [問い合わせができる](#)
8. [社交ができる](#)
9. [手続きができる](#)
10. [楽しむことができる](#)

[INDEX](#)

言語能力 ⑥読字能力

C2	
C1	
B2	B2.2
	B2.1
B1	B1.2
	B1.1
A2	A2.2
	A2.1
A1	

* 読字能力についての言語能力記述文はない

モジュールボックスにもどる

- [1. 授業／講義に参加できる](#)
- [2. グループでの活動に参加できる](#)
- [3. 試験の準備・対策ができる](#)
- [4. 面接・面談が受けられる](#)
- [5. 情報収集ができる](#)
- [6. 情報発信ができる](#)
- [7. 問い合わせができる](#)
- [8. 社交ができる](#)
- [9. 手続きができる](#)
- [10. 楽しむことができる](#)

[INDEX](#)

社会言語能力【社会言語的な適切さ】

C2		<ul style="list-style-type: none"> ・慣用句的表現や口語表現をうまく使いこなせ、コンテキスト(含意)も分かっている。 ・熟達した日本語話者が言語を使用する際の実質的に全ての社会言語的、および社会文化的な意味を十分に理解し、適切に応じることができる。 ・社会文化的、及び社会言語的な違いを考慮しながら、日本語話者と自分自身の生活地域の言語の話者との間を、効果的に仲介することができる。
C1		<ul style="list-style-type: none"> ・幅広い慣用句的な表現や口語表現を認識することができ、言葉の使用域の変化も理解できる。しかし、特に聞き慣れないなまりの場合、時々細部を確認する必要があるかもしれない。 ・俗語や慣用句がかなり使われている映画の筋を追うことができる。 ・感情表現、間接的な示唆、冗談などを交えて、社交上の目的に沿って、柔軟に、効果的に言葉を使うことができる。
B2	B2.2	<p>公式の言葉遣いでも、くだけた言葉遣いでも、その場や会話の参加者に応じた適切な言葉遣いで、はっきりと理解できる。礼儀正しい言葉遣いで、自分自身の述べたいことを自信を持って言うことができる。</p>
	B2.1	<ul style="list-style-type: none"> ・話の速度が速く、口語的であっても、ある程度の努力をして、グループ討議に付いていくことができ、また参加することができる。 ・熟達した日本語話者との対人関係を維持できるが、その際、当人の意図に反して熟達した日本語話者がおかしかったり、いらつくことはなく、また熟達した日本語話者が当人と話す際、熟達した日本語話者同士の場合と違った話し方をしなくてすむ。 ・言語化する際に深刻な誤りを犯すことなく、いろいろな場面で自分自身の述べたいことを表現することができる。
B1	B1.2	<ul style="list-style-type: none"> ・中立的な、ごく一般的な言葉遣いで、幅広い言語機能を遂行し、対応できる。
	B1.1	<ul style="list-style-type: none"> ・明示的な礼儀慣習を認識しており、適切に行動できる。 ・目標言語の文化と当人自身の文化との間の、慣習、言葉遣い、態度、価値観や信条について、最も重要な違いに対する認識があり、それを配慮することができる。
A2	A2.2	<ul style="list-style-type: none"> ・例えば、簡単な形で情報を交換、請求したり、意見や態度を表明したりするなどの、基本的な言語機能を実行でき、また応じることができる。 ・最も簡単な、一般的な表現や、基本的な慣習に従って、単純な形ではあるが、効果的に交際を維持することができる。
	A2.1	<ul style="list-style-type: none"> ・日常的に使われる挨拶や呼び掛けなど、礼儀正しい言葉遣いで、短い社交的な会話を行うことができる。 ・招待や提案、謝罪などを行ったり、それらに応じることができる。
A1		<p>挨拶やいとまごい、紹介、「～してください」、「どうもありがとう」、「すみません」などの、最も簡単な日常的に使われる丁寧な言葉遣いで、基本的な社交関係を確立することができる。</p>

モジュールボックスにもどる

1. [授業／講義に参加できる](#)
2. [グループでの活動に参加できる](#)
3. [試験の準備・対策ができる](#)
4. [面接・面談が受けられる](#)
5. [情報収集ができる](#)
6. [情報発信ができる](#)
7. [問い合わせができる](#)
8. [社交ができる](#)
9. [手続きができる](#)
10. [楽しむことができる](#)

[INDEX](#)

言語運用能力①ディスコース(談話構成)能力【場面に応じた柔軟性】

C2	強調したり、その場の状況や聞き手などに応じて変化を付けたり、曖昧さをなくすために、様々な言語形式を使って、発言を言い直す幅広い柔軟性がある。
C1	B2.2と同じ。
B2	B2.2 その場の状況や、聞き手に応じて、内容、話し方を調節することができ、その場の状況にふさわしい丁寧さの言葉遣いができる。
	B2.1 ・会話で通常見られる流れ、話し方、強調の変化に適応することができる。 ・自分が述べたいことを表現する仕方に変化を付けることができる。
B1	B1.2 難しい場面においてさえも、型通りの表現を余り多用せず、表現を順応させることができる。
	B1.1 簡単な言語を幅広く柔軟にを使って、述べたいことを多く表現できる。
A2	A2.2 限られた範囲でだが、語彙的な差し替えを行って、十分練習した、覚えている言い回しを使って特定の状況に合わせることができる。
	A2.1 既に学習済みの言い回しの組合せを変えて、使える表現を増やすことができる。
A1	利用できる言語能力記述文はない。

モジュールボックスにもどる

1. [授業／講義に参加できる](#)
2. [グループでの活動に参加できる](#)
3. [試験の準備・対策ができる](#)
4. [面接・面談が受けられる](#)
5. [情報収集ができる](#)
6. [情報発信ができる](#)
7. [問い合わせができる](#)
8. [社交ができる](#)
9. [手続きができる](#)
10. [楽しむことができる](#)

[INDEX](#)

言語運用能力①ディスコース(談話構成)能力【発話の順番(発言権)】

C2		C1と同じ。
C1		ディスコース機能の中のいつでも使える範囲から、自分の発言の前置きにふさわしい言い回しを適切に選び、発言の機会を獲得できる。また話の内容を考えている間も、発言権を維持できる。
B2	B2.2	・適切な表現を使って議論に途中から入り込むことができる。 ・上手に発言権を取って、会話を始め、続け、終わることができる。
	B2.1	・必ずしもスマートとは言えないが、会話を始めること、適切なときに発言権を取り、必要なときに会話を終わらせることができる。 ・手持ちの言い回し(例えば「それは難しい問題ですね…」等)を使って、言うべきことを言葉にする間、時間を稼ぎ、発言権を保ち続けることができる。
B1	B1.2	適切な言い回しを使って、なじみのある話題についての議論に途中からでも加わることができる。
	B1.1	なじみのある話題や、個人的興味のある話題なら、対面での簡単な会話を始め、続け、終わらせることができる。
A2	A2.2	・簡単なやり方で、短い会話を始め、続け、また終わることができる ・簡単な対面での会話を始め、続け、終わることができる。
	A2.1	発言権を取るため、保持するために何らかの言語行動を取ることができる。
A1		利用できる言語能力記述文はない。

モジュールボックスにもどる

1. [授業／講義に参加できる](#)
2. [グループでの活動に参加できる](#)
3. [試験の準備・対策ができる](#)
4. [面接・面談が受けられる](#)
5. [情報収集ができる](#)
6. [情報発信ができる](#)
7. [問い合わせができる](#)
8. [社交ができる](#)
9. [手続きができる](#)
10. [楽しむことができる](#)

[INDEX](#)

言語運用能力①ディスコース(談話構成)能力【話題の展開】

C2		C1と同じ
C1		洗練された描写や語りができる。そして、下位テーマをまとめ、要点の一つを展開して、適切な結論で終わらせることができる。
B2	B2.2	論拠となる詳細関連事項や具体例などによって自分の主要な論点を補強して、明快な描写や語りをすることができる。
	B2.1	
B1	B1.2	事柄を直線的に並べていって、比較的流ちょうに、簡単な語りや記述ができる。
	B1.1	
A2	A2.2	ポイントを簡単に並べ上げる形で、物事を語ったり事物を記述できる。
	A2.1	
A1		利用できる言語能力記述文はない。

モジュールボックスにもどる

1. [授業／講義に参加できる](#)
2. [グループでの活動に参加できる](#)
3. [試験の準備・対策ができる](#)
4. [面接・面談が受けられる](#)
5. [情報収集ができる](#)
6. [情報発信ができる](#)
7. [問い合わせができる](#)
8. [社交ができる](#)
9. [手続きができる](#)
10. [楽しむことができる](#)

[INDEX](#)

言語運用能力①ディスコース(談話構成)能力【一貫性と結束性】

C2		様々な構成パターンや、幅広い結束手段を十分かつ適切に利用して、一貫性があり、結束性のあるテキストを作り出すことができる。
C1		様々な構成パターン、接続表現、結束手段が使える、上手に構成された、明快で流ちょうな話をする事ができる。
B2	B2.2	複数の考えの間の関係を明確にするために、様々な結合語を効果的に使うことができる。
	B2.1	限定的な範囲ではあるが、様々な結束手段を使って、自分の発話を、明快な、結束性のあるディスコースへ作り上げることができるが、長く話すとすると若干の「ごちなさ」があるかもしれない。
B1	B1.2	短めの、単純で、バラバラな成分をいろいろ結び合わせて、直線的に並べて、つながりを付けることができる
	B1.1	
A2	A2.2	最も頻繁に出現する接続表現を使って、単純な文をつなげ、物事を語ったり、描写することができる。
	A2.1	「そして」、「でも」、「～から」のような簡単な接続表現を用いて語句の間につながりを付けることができる。
A1		「そして」や「それで」のような、非常に基本的な並列の接続表現を用いて単語や語句をつなげることができる。

モジュールボックスにもどる

1. [授業／講義に参加できる](#)
2. [グループでの活動に参加できる](#)
3. [試験の準備・対策ができる](#)
4. [面接・面談が受けられる](#)
5. [情報収集ができる](#)
6. [情報発信ができる](#)
7. [問い合わせができる](#)
8. [社交ができる](#)
9. [手続きができる](#)
10. [楽しむことができる](#)

[INDEX](#)

言語運用能力②機能的能力【話し言葉の流ちょうさ】

C2		自分の言いたいことを、長い発話でも、自然で、苦労なく、詰まらずに、流れるように、表現することができる。滞るのは、考えを表現するために最適な言葉を考えたり、適切な例や説明を探そうとしたりする時だけである。
C1		自分自身の述べたいことを流ちょうかつ無理なく自然に、ほとんど苦労せずに述べる事が可能である。ただ、概念的に難しい内容に関してのみ、自然で滑らかな言葉の流れが損なわれる。
B2	B2.2	無理なく自然に、コミュニケーションを行うことができ、長く、複雑な一連の発話であっても、非常に流ちょうで、表現に余裕があることが見られる。
	B2.1	・比較的一定の速さを保って発話を行うことができる。言い方の型や表現を探す際に詰まることがあっても、目立って長い間が空くことは少ない。 ・互いに無理することなく、ある程度の流ちょうさで、無理なく自然に、熟達した日本語話者と普通にやり取りができる。
B1	B1.2	自分の表現したいことを、比較的容易に表現できる。言語化する際に、間が空いたり、「袋小路」に入り込んだりはするものの、他人の助けを借りずに発話を続けることができる。
	B1.1	ある程度の長さの、理解可能な発話を行うことができるが、制限を受けない自由な発話で比較的長いものになると特に、談話を続けていくときに文法的及び語彙的に正確であろうとして間が空いたり、発話の修復を行うのが目立つ。
A2	A2.2	話し始めて言い直したり、途中で言い換えたりすることが目立つが、短い発話であれば自分の述べたいことを理解してもらえる。
	A2.1	言葉に詰まったり、話し始めて言い直すことが目立って多いが、なじみのある話題であれば、あまり困難なく言いたいことを言葉に表現でき、短いやり取りを行うことができる。
A1		適切な表現を探したり、余りなじみのない言葉を言おうとすると、また話の流れの修復のために、間が多く空くが、非常に短い、単独の、多くはあらかじめ準備しておいた発話を行うことができる。

モジュールボックスにもどる

1. [授業／講義に参加できる](#)
2. [グループでの活動に参加できる](#)
3. [試験の準備・対策ができる](#)
4. [面接・面談が受けられる](#)
5. [情報収集ができる](#)
6. [情報発信ができる](#)
7. [問い合わせができる](#)
8. [社交ができる](#)
9. [手続きができる](#)
10. [楽しむことができる](#)

[INDEX](#)

言語運用能力②機能的能力【叙述の正確さ】

C2		<ul style="list-style-type: none"> 例えば、程度の副詞や、限定を表す節などの修飾語句を、幅広く、比較的正しく使うことによって、意味の微妙なあやを正確に伝えることができる。自分が主張したい主な点を、聞き手が理解できるような形で表現することができる。 強調したり、区別したり、曖昧さを排したりすることができる。
C1		内容の確実性/不確実性、信頼性/疑問性、可能性などに対応した修飾語句を付けて、意見や叙述を正確に述べることができる。
B2	B2.2	信頼を得られる程度に情報を詳しく伝えることができる。
	B2.1	
B1	B1.2	概念や問題の主要な点を、比較的正確に表現することができる。
	B1.1	<ul style="list-style-type: none"> 直接関わりのあることについては、簡単かつ分かりやすい形で情報を伝えることができ、自分が最も大切だと思う点を、聞き手に理解させることができる。 自分が主張したい主な点を、聞き手が理解できるような形で表現することができる。
A2	A2.2	なじみのある事柄や型にはまった事柄であれば、限られた情報を、簡単かつ分かりやすい形で交換して、自分が述べたいことを伝えることができるが、その他の場面では大抵内容的に妥協しなければならない。
	A2.1	
A1		利用できる言語能力記述文はない。

モジュールボックスにもどる

1. [授業／講義に参加できる](#)
2. [グループでの活動に参加できる](#)
3. [試験の準備・対策ができる](#)
4. [面接・面談が受けられる](#)
5. [情報収集ができる](#)
6. [情報発信ができる](#)
7. [問い合わせができる](#)
8. [社交ができる](#)
9. [手続きができる](#)
10. [楽しむことができる](#)

[INDEX](#)